

主要施策成果等一覧表

「令和5年度における主要施策の成果に関する説明書」

(資料編)

- 1 令和5年度における主な新規事業及び拡充事業については、「事業内容・成果及び実施状況」の欄に【新規】又は【拡充】と記載しています。
- 2 決算額については、予算事業単位の決算額を記載していますので、「事業内容・成果及び実施状況」の欄に記載されていない事業の決算額を含んでいます。なお、単位は「千円」とし、千円未満は四捨五入しています。
- 3 直接的な予算の支出を伴わないものについては「熊取町第4次総合計画第2次実施計画」上の事業名を記載しています。

目 次

大綱1 一人ひとりの意識とご近所のふれあいで暮らしやすいまちをめざします

- (1) 住民協働・住民参画・・・・・・・・・・・・・1
- (2) 地域コミュニティ・・・・・・・・・・・・・1
- (3) 防犯・交通安全・消費生活・・・・・・・・・・・・・2
- (4) 防災・・・・・・・・・・・・・4
- (5) 男女共同参画・多文化共生・・・・・・・・・・・・・8
- (6) 平和・人権・・・・・・・・・・・・・9

大綱2 まちに愛着を持てる、たくましく生きる力を持つ子どもが育つまちをめざします

- (7) 子育て・・・・・・・・・・・・・10
- (8) 保育・幼児教育・・・・・・・・・・・・・13
- (9) 学校教育・・・・・・・・・・・・・15
- (10) 生涯学習・・・・・・・・・・・・・18
- (11) 文化・芸術・・・・・・・・・・・・・21

大綱3 だれもがいつまでも健康でいきいきと活躍できるまちをめざします

- (12) 健康・長寿・・・・・・・・・・・・・25
- (13) 保健・医療・・・・・・・・・・・・・27
- (14) 運動・スポーツ・・・・・・・・・・・・・29

- (15) 高齢者福祉・・・・・・・・・・・・・30
- (16) 障がい者福祉・・・・・・・・・・・・・33
- (17) 地域福祉・社会保障・・・・・・・・・・・・・34

大綱4 住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちをめざします

- (18) 市街地整備・・・・・・・・・・・・・36
- (19) 道路・交通・・・・・・・・・・・・・36
- (20) 下水道・・・・・・・・・・・・・38
- (21) 公園・自然環境・・・・・・・・・・・・・39
- (22) 住環境・・・・・・・・・・・・・41
- (23) 循環型社会・・・・・・・・・・・・・43
- (24) 商工業・サービス業・・・・・・・・・・・・・46
- (25) 農林業・・・・・・・・・・・・・47
- (26) 観光・交流・・・・・・・・・・・・・48
- (27) 雇用・就労・・・・・・・・・・・・・49

大綱5 健全で安定した持続可能なまちをめざします

- (28) 行財政運営・・・・・・・・・・・・・49
- (29) 情報の公開(31) シティプロモーション・・・・・・52
- (30) 多種多様な連携・・・・・・・・・・・・・53

大綱Ⅰ 一人ひとりの意識とご近所のふれあいで暮らしやすいまちをめざします

(1) 住民協働・住民参画

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
1	協働推進事業 (企画財政経営課)	79	・協働によるまちづくりを推進するとともに、町内で活動する住民活動団体を支援する。	○令和5年度実施住民提案協働事業(9事業:補助額4,905千円) ■行政テーマ型(5事業) ・「こどもレストラン」 ・「奥山雨山自然公園エリアを活用した体験型環境教育」 ・「奥山雨山自然公園周辺における紅葉の保全・活用と魅力の向上」 ・「長池オアシス公園維持管理事業」 ・「エンタメ KUMATORI」 ■団体提案型(4事業) ・【新規】「くまとり新規就農塾」 ・「人とペットに優しい街、くまとりプロジェクト」 ・「Market Kumatori」 ・「Viento Kitchen(子ども食堂)」

(2) 地域コミュニティ

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
2	町政連絡事務事業 (自治・防災課)	26,622	・町内の区・自治会の区長に町政連絡事務嘱託員を委嘱し、町行政と住民とのパイプ役を担っていただくことで、円滑な町政運営に繋げ、様々な活動等への支援を行う。	○町政連絡事務嘱託員連絡会の開催 年5回 ○町政連絡事務嘱託員報酬(9,390千円) ○自治振興交付金(16,719千円) ・各地区で行う清掃等美化活動、青少年の健全育成活動、募金活動、老人憩いの家の管理運営、防犯灯の管理等への支援 ・区域内世帯への広報紙の配布、回覧その他の広報活動への支援 ・各地区で行う自主防災活動への支援 ・各地区で行う自主防犯活動への支援 ・廃棄物減量等推進員のいる地区内でのゴミ減量化活動への支援 ○自治会連合会補助金(400千円) 自治会連合会の活動への支援

(3) 防犯・交通安全・消費生活

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
3	防犯事業 (自治・防災課)	25,862	・犯罪の抑止、防犯意識の醸成を図るため、自主的な防犯活動の支援を行うことにより、全ての住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。	○「安全なまちづくり大会」 ・泉佐野警察署管内1市2町輪番で開催（令和5年10月15日（日）煉瓦館コットンホール） - 式典のほか、防犯活動紹介、防犯動画、大阪府警察本部安全班による防犯教室を実施。 ○「安全なまちづくり推進協議会総会」の開催（令和5年7月28日（金）煉瓦館コットンホール） ○「熊取町安全パトロール隊」による地域パトロールの実施 ・実施回数総合計 243日（ボランティア参加 61回） - 日中 212日（ボランティア参加 37回） - 早朝 17日 - 夕刻 24日 - 夜間 24日（ボランティア参加 24回） ○泉佐野警察署等関係機関との連携によるパトロールの実施 ・泉佐野警察署との情報交換 1回 ・警察との合同パトロール 1回（わんわんパトロール・レディース防犯含む） ○【拡充】防犯カメラの増設・更新 これまでの防犯カメラ設置台数 103 台から 150 台に増設した。また、増設に併せて設置後 5 年以上経過しているカメラの更新も実施した。 ・R5 年度末時点の設置台数 150 台 ○【拡充】防犯灯の設置及び管理 ・区・自治会管理の防犯灯の電気代を 3 分の 1 から 10 割補助に変更した。
4	消費生活対策事業 (産業振興課)	4,457	・消費者教育や情報提供を推進するとともに、被害の拡大防止のための講演会を開催するなど、消費者保護を推進する。 ・消費者問題に対する相談体制を強化する。	○消費者月間における啓発講座の実施 ・開催日 令和5年5月30日 ・参加者 10名 ・テーマ 契約したら、もうおシマイ！？（今こそ知っておきたい住マイのトラブル） ○消費力向上を目的としたミニ講座の実施 【秋】 ・開催日 令和5年11月30日、12月8日、12月14日（全3講座）

			・参加者 14名 ・テーマ 広告のカラクリ、うら話お教えします！（人はなぜその広告について飛びついてしまうのか） 【冬】 ・開催日 令和6年2月6日、2月15日、2月22日（全3講座） ・参加者 29名 ・テーマ 新NISAってナニ～さ？（基礎の基礎から学びたい人大集合） ○小学5年生、中学1年生を対象とした講座の実施 ・テーマ 「気をつけよう！ネットやスマホ」（知ろう！学ぼう！賢い消費者になるために） ・対象者 小学生403人 中学生355人 ○消費生活センターの開設 ・消費生活相談の実施（月～金） 午後1時～5時 ・年間相談件数：278件 ・消費生活特別相談（弁護士対応） 令和5年5月30日：0件 令和6年2月15日：0件 ○各種啓発冊子の作成 ・若者向け消費者問題啓発用リーフレット「あま～い誘いにご用心」500部作成 ・小学生向けリーフレット「みんなでステップアップ！」450部 ・中学生向けリーフレット「中学生のかしこい消費生活」380部
5	交通安全対策事業 （道路公園課）	8,322	・交通安全意識と交通マナーの向上、道路交通環境の安全性の確保、交通事故防止に努める。 ○熊取町「交通事故をなくす運動」推進本部事業活動の実施 ・交通安全教室の実施（対面教室・DVD鑑賞等） 町立中学校1校・町立小学校5校・町立保育所3施設・民間保育園4施設・認定子ども園2施設・幼稚園1施設 ・春・秋の全国交通安全運動期間中の啓発活動の実施 駅前広場や主要交差点に横断幕、のぼり旗を設置。 ・浪商学園・泉佐野警察・熊取町によるマナーアップ作戦連絡会による交通安全指導の実施 府道泉佐野打田線における交通安全指導10回実施 ○高齢者運転免許自主返納支援の実施 ・満65歳以上の方で、運転免許の全部を自主返納した方及び令和2年4月より運転免許を失効し、運転経歴証明書の交付を受けた方に、有効期間5年間

				の町内循環バスの無料定期乗車券を交付（8人） ○【新規】自転車用ヘルメット購入費補助の実施 ・自転車乗車時のヘルメットの着用について、道路交通法の改正により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者を対象として努力義務化となったが、法施行以後においてもその着用率が低いことから、ヘルメット着用を促進することを目的に、自転車用ヘルメット購入費の一部（購入費の1/2、上限2,000円）を補助し、着用率の向上を図るために実施したもの。 申請件数 566件 補助対象者数 753名 補助金額 1,344,600円 ※受付期間：令和5年8月1日～令和6年3月29日
6	放置自転車対策事業（道路公園課）	9,860	・駅前放置自転車等への街頭指導、定期的な移動、返還を行う。	○街頭指導・移動業務及び返還業務 委託先：公益社団法人熊取町シルバー人材センター 移動台数（自転車 73台 バイク 3台） 返還台数（自転車 28台 バイク 1台）

（4）防災

	事業名 （所管課）	決算額 （千円）	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
7	防災事業 （自治・防災課）	14,124	・自主防災組織の育成及び支援を実施するとともに、自主防災組織訓練の活動を支援する。	○自主防災組織等の活動の支援 ・住民の自主的な防災活動の促進と地域防災力の充実強化を推進するため、自主防災組織による訓練を実施した（自主防災組織：訓練実施組織数25組織、実施回数 29回、参加人数 2,622人、その他の団体：実施団体数 2団体、実施回数 2回、参加人数 154人） ○地区別自主防災マニュアル等の作成促進 ・発災時における自助、共助、協働を原則として、地域における防災力の充実強化を推進するための自主防災マニュアル及び校区别避難所運営マニュアルが作成された。 ・自主防災マニュアル作成数(令和5年度末)16組織 ・校区别避難所運営マニュアル 北小学校区 ○【新規】女性防災士育成研修の実施 ・地域防災力の強化を図り、災害に強いまちづくりをめざすため、また、災害時における自主防災組織での住民のリーダーを育成するため、女性防災士育成研修を実施した。 参加人数 82名 資格取得者 64名

8	消防団運営事業 (自治・防災課)	15,368	・消防団装備等の計画的な整備及び適正な維持管理を行うとともに、消防団員の災害対応能力の向上を図る。	○消防団員訓練の実施 消防車両や積載ポンプ、資機材を用いて消防訓練を行うとともに、消防学校の教育訓練に参加し消防団員の技術力の向上を図った。 消防訓練：非常招集訓練、火災予防運動特別消防訓練 消防学校教育訓練：基礎教育課程、幹部課程、特別技術講習 ○消防団員の健康増進 消防団員の健康管理のため健康診断を実施した。 受診者：31人
9	消防施設管理事業 (自治・防災課)	4,102	・消防団各分団の防災資機材を充実させ、分団車両及び分団器具庫を適正に管理し、消防力強化を図る。	○消防団装備等の充実 計画的な車両更新及び更新時に不要な消防車両の売却を行った。 ○消防団車両の法定定期点検の実施 各分団車両とも年2回の点検を実施した。
10	泉州南消防組合運営事業 (自治・防災課)	544,082	・泉州南消防組合として広域での消防業務を行い、消防力の強化を図る。	○泉州南消防組合への負担金の支出
11	民間住宅耐震改修等事業 (まちづくり計画課)	3,850	・「第2次熊取町耐震改修促進計画」に基づき、町内の住宅・建築物の耐震化率向上を図る。	○既存民間建築物耐震診断補助の実施 ・補助率：10/11（上限 50,000円） ・補助金交付件数：1件 50,000円 ○木造住宅除却工事補助の実施 ・補助額：定額 400,000円 ・補助金交付件数：7件 2,800,000円 ○木造住宅耐震改修設計補助の実施 ・補助率：7/10（上限 100,000円） ・補助金交付件数：1件 100,000円 ○木造住宅耐震改修補助の実施 ・補助額：定額700,000円 又は 900,000円 ・補助金交付件数：1件 900,000円

12	河川一般事務経費 (下水道河川課河川農水室)	1,044	・土砂災害等における連携協力に関する協定書に基づく予防対策業務として土砂災害等アドバイザー業務を実施する。	○土砂災害等技術アドバイザー業務 平常時からの土砂災害の未然防止や宅地防災の対策のため、「土砂災害等における連携協力に関する協定書」に基づく予防対策業務として実施。 ・現地調査 2回 土砂災害の可能性のある箇所等の現地調査 ・住民向け宅地地盤相談会 1回 相談者2名 ・電子メールによる相談 1件 工事に際して発生したクラックに対する対策工法に関する相談 委託先：一般社団法人地盤品質判定士会
13	ため池等整備事業 (下水道河川課河川農水室)	24,111	・大規模地震に備え、貯水量が多く、下流への影響が高いため池について、大阪府の耐震診断の結果に基づき、今後の対策を検討する。 ・ため池・水路等の修繕を行い、ため池・水路等の適正な維持管理を行う。	○ヨシ池耐震対策測量基本設計業務 ○馬谷池耐震対策測量基本設計業務 大阪府が実施した、ため池耐震診断結果で震度7程度の地震の揺れに対する耐震性能を有していないことが判明し、ため池の耐震対策に向けた測量設計業務を実施。 ○西ノ川水路維持修繕工事 ※令和6年1月15日完成 水路床が洗掘されている箇所や土砂が堆積している箇所が点在しており、洗掘箇所では、護岸ブロック積が崩壊するおそれがあることから水路維持修繕工事を実施。 ○中ノ池他立木伐採業務 ため池敷き内等に樹木や草が繁茂し、近隣住民からの樹木伐採の要望やため池敷きの維持管理のため立木伐採業務を実施。
14	河川維持事業 (下水道河川課河川農水室)	29,524	・大雨時の河川の溢水、護岸の崩壊を未然に防止するため、河川の河床整備、河川法面の修繕等を行う。	○準用河川見出川河床整正他工事 若葉地区の準用河川見出川の流水により洗掘または堆積した河床の整正を行い護岸崩壊を防ぐ。 ○普通河川見出川法面修繕測量設計業務 ○普通河川見出川法面修繕地質調査業務 令和2年度に崩落した大宮地区の普通河川見出川法面について、令和4年度に実施した現地調査にて、再崩落した場合、崩落場所に隣接する民家に被害が及ぶと一般社団法人地盤品質判定士会の見解があり、河川法面の安定を図り、安全性を確保するために、測量設計業務を実施。 ○普通河川雨山川立木伐採業務 河川内等に樹木、竹、草が繁茂し、繁茂している樹木等が流水を阻害したり、木の根が、河川護岸の施設に影響を及ぼす可能性があるため、流水断面の確保

				と適正な維持管理及び景観の維持を目的として、立木採業務を実施。 ○普通河川見出川法面応急対策工事 ※令和5年8月4日完成 令和5年4月1日に小谷地区の普通河川見出川の法面が崩落し、隣接する建物に危険が及んでいることから、安全性の確保及び法面の安定を図るため、応急対策工事を実施。
15	浸水対策事業 (下水道河川課河川農水室)	2,200	・大雨時における浸水被害地域の浸水原因を調査するとともに雨水排水施設等の改修を進め、地域の浸水被害の防止に努める。	○朝代地区浸水対策調査業務 対象区域において大雨時に水路の溢水が発生し、道路が冠水するなど、現況の水路では雨水排水能力が不足している状況であり、現状の対象区域の雨水量及び既設水路の排水能力を把握するため、調査業務を実施し、調査結果を基に必要なに応じた水路整備を検討する。
16	農業施設災害復旧事業 (下水道河川課河川農水室)	2,619	・災害により被災した農業施設の復旧を行う。	○農地・農業用施設災害復旧事業実施設計業務 令和5年6月2日の梅雨前線豪雨により被災した大池水路の災害復旧を実施するにあたり、実施設計業務を実施。
17	河川災害復旧事業 (下水道河川課河川農水室)	53,294	・災害により被災した河川管理施設の復旧を行う。	○普通河川見出川他災害復旧測量設計業務 令和5年6月2日の梅雨前線豪雨により被災した普通河川見出川右岸護岸(高田地区)、普通河川見出川左岸護岸(小谷地区)、普通河川和田川左岸護岸(和田地区)の災害復旧を実施するにあたり、実施設計業務を実施。 ○準用河川見出川災害復旧測量設計業務 令和5年6月2日の梅雨前線豪雨により被災した準用河川見出川右岸護岸(小垣内地区)の災害復旧を実施するにあたり、実施設計業務を実施。 ○準用河川見出川左岸(小垣内地区)災害復旧実施設計業務 令和5年6月2日の梅雨前線豪雨により被災した準用河川見出川左岸法面(小垣内地区)の災害復旧を実施するにあたり、実施設計業務を実施。 ○普通河川和田川伐竹業務 ○準用河川見出川伐竹業務 令和5年6月2日の梅雨前線豪雨により普通河川和田川左岸(和田地区)及び準用河川見出川右岸(小垣内地区)が崩壊し、倒れた竹等で河川断面が閉塞され、流水が阻害されている危険な状態であることから、竹等の除去し、河川断面を確保する必要があるため、伐竹業務を実施。 ○普通河川見出川法面応急対策復旧支援業務 令和5年4月1日に崩落した普通河川見出川右岸法面(小谷地区)の安全性、

			緊急性を確認するため、「土砂災害等における連携協力に関する協定」に基づく復旧支援業務として、一般社団法人地盤品質判定士会に現地調査を依頼し、地盤工学専門家の立場からの援助、協力を得る。 ○令和5年災第1006号準用河川見出川災害復旧工事 (小垣内地区) ※令和6年3月28日完成 ○令和5年災第1007号普通河川見出川災害復旧工事 (高田地区) ※令和6年3月28日完成 ○令和5年災第1010号普通河川見出川災害復旧工事 (小谷地区) ※令和6年3月26日完成 令和5年6月2日の梅雨前線豪雨により被災した準用河川見出川右岸護岸(小垣内地区)、普通河川見出川右岸護岸(高田地区)、普通河川見出川左岸護岸(小谷地区)の災害復旧工事を実施。 ○普通河川見出川災害復旧工事(小谷地区) ※令和6年3月27日完成 令和5年6月2日の梅雨前線豪雨により被災した普通河川見出川左岸護岸(小谷地区)の災害復旧工事を実施。
--	--	--	---

(5) 男女共同参画・多文化共生

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
18	男女共同参画推進事業 (人権・女性活躍推進課)	249	・情報誌の作成や講演会等の取り組みを通じて男女共同参画のための住民の意識づくりと職員の意識づくりを行う。また、DV等の暴力を許さない環境の整備と啓発を行うとともに、支援の際には各種関係団体と連携を図る。	○男女共同参画社会情報誌 「男女が”ともに”協力しあいながら…」の発行 ・発行回数 年1回(11月) ・配布先 全戸配布 窓口に設置 ・発行部数 16,500部 ○男女共同参画講座・講演会 ・開催日 令和5年11月12日 ・場 所 煉瓦館 コットンホール 【午前・講座】 ・テーマ 「50代までに考えよう! 知ってトクする老後のお金」 ・講師 渡邊 有子(ファイナンシャル・プランナー) ・参加者 23人 【午後・講演会】 ・テーマ 「はじめてのLGBTQ～性の多様性と人権～」 ・講師 杉山 文野氏(フェンシング元女子日本代表) ・参加者 33人

(6) 平和・人権

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
19	平和推進事業 (人権・女性活躍 推進課)	66	・非核平和の意識高揚のため、多くの 住民が平和について考える機会を 提供する。	○「平和パネル・ポスター展」の開催 ・開催日 令和5年8月5日～30日 ・場 所 熊取図書館 ・内 容 平和に関するパネルと町内小・中学生が平和をテーマに描いたポ スター16点を展示（各小中学校から2点ずつ選出） ○ふれ愛映画会 ・開催日 令和5年8月5日・6日 ・場 所 熊取図書館2階ホール ・内 容 平和に関するアニメを2回上映 ・参加者 延べ18人
20	人権啓発事業 (人権・女性活躍 推進課)	1,505	・各種団体と街頭啓発や講演会等に取 り組み、住民へ向けた周知・啓発を 行う。また、人権侵害事象の早期発 見、防止に向け、各種団体と連携を 図る。	○人とひと・ふれ愛の集い ・テーマ 「インターネットと人のかかわりあい～突然、僕は殺人犯にされた～」 ・開催日 令和5年12月17日 ・場 所 煉瓦館 コットンホール ・講 師 スマイリーキクチ氏（芸人） ・参加者 33人 ○ふれ愛映画会 ・開催日 令和5年8月5日・6日 ・場 所 熊取図書館2階ホール ・内 容 人権啓発に関するアニメ及びドラマを4回上映 ・参加者 延べ91人 ○「人権ポスター展」の開催 ・開催日 令和5年12月1日～24日 ・場 所 熊取図書館 ・内 容 町内小・中学生が人権をテーマに描いたポスター16点を展示（各 小中学校から2点ずつ選出） ○人権相談の実施 ・毎月第1・3・4木曜日 午後1時～3時 ・相談件数41件 （第2木曜日は、人権擁護委員による人権相談） ○人権啓発広報紙「しあわせへの道」の発行 ・発行回数 年2回（5月・12月） ・配布先 全戸配布、窓口に設置 ・発行部数 16,500部

大綱2 まちに愛着を持てる、たくましく生きる力を持つ子どもが育つまちをめざします

(7) 子育て

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
21	子育て支援事業 (子育て支援課)	41,441	・住民と行政の協働による子育て支援のネットワーク化を推進する。	○地域子育て支援拠点事業（委託事業） ・ぷらっつ：週4日開催、 延べ参加者数 大 人 2,041 人 子ども 2,297 人 合 計 4,338 人 ・であいの広場：週4日開催 延べ参加者数 大 人 1,521 人 子ども 1,991 人 合 計 3,512 人 ○「ファミリー・サポート・センター」 ・会員数 377 人（依頼会員 205 人、協力会員 138 人、両方会員 34 人）、サポート実績 1,270 件、協力会員養成講座（12 回）参加人数 161 人 ○ホームスタート事業の実施 ・訪問家庭件数 32 件[新規 20 件（内、産前 1 件）、継続 12 件（内、産前 0 件）]、オーガナイザー4 人、ホームビジター30 人、ホームビジター養成講座（9～12 月で 11 日間）、ホームビジター研修（5 回）、オーガナイザー研修（7 回）の実施 ○「赤ちゃんの駅」登録施設のPR - 令和5年度末時点登録施設数 22 か所 （公共施設 11、民間保育所・認定こども園 5、その他 6） ・広報及びホームページで登録施設随時募集 ○子どもの権利に関する条例（令和4年4月施行）に伴う周知・啓発 ・啓発リーフレットの配布（各小中学校） ・「こどもまつり」でブース設置等による啓発（1 回） ・講演会開催（1 回）

22	児童相談事業 (児童福祉総務費) (子育て支援課)	9,144	・虐待等の早期発見、適切な支援や専門的相談の実施及び保育所、幼稚園、学校等子どもに関わる機関の相談対応力の向上も図りながら、0～18歳までの子どもの健全育成と家庭状況の改善を行う。	○子ども家庭相談の実施 ・相談実件数 544 件 ○専門相談の実施 ・発達相談：62 回、ことばの相談：16 回、運動機能相談：17 回、医師の相談：9 回実施 ※学校教育課と連携協力して実施 ○保育所・幼稚園・小中学校・学童保育所巡回相談の実施（町立保育所 年 1 回、民間保育園および幼稚園 年 1 回、小中学校 年 2 回ずつ、学童 年 2 回） ○児童虐待防止スーパーバイザーの配置（2 人） ○関係機関との個別ケース検討会議（37 回） ○家庭児童相談システム（情報共有システム）の活用 ・健康管理システム専用パソコン貸借等
23	児童相談事業 (予防費) (子育て支援課)	1,683	・子どもと家庭の様々な相談にきめ細かく対応し、発育・発達のおくれ、疾病及び虐待等の早期発見・早期支援により、子どもの成長発達を保障する。	○医師による相談（小児科医 小児神経専門医 広汎性発達障がい専門医による相談）の実施 ・相談者数 64 人、12 回 ○心理相談（発達相談員による相談）の実施 ・相談者数 307 人、143 回
24	母子保健事業 (子育て支援課)	69,618	・不妊・不育治療費の助成、適切な妊婦健診、妊婦歯科健診の受診勧奨及び必要時保健師等による訪問を行い、必要な知識の提供及び保健指導を行うことにより、妊娠から出産後まで切れ目のない支援を行う。 ・各種乳幼児健康診査や育児相談等を通し、子どもの疾病や育児不安などの早期発見や支援を行うとともに、各種教室を通じ、食事の大切さを啓発する等食育を推進し、健康的な食生活への支援を行う。	○不妊・不育治療費助成事業の実施 ・申請受理延件数 118 件 （一般不妊：62 件、生殖補助医療（特定不妊）：56 件、不育：0 件） ○妊婦健診助成の実施 ・利用者実人数 335 人 ・利用回数 延べ 2,544 回 ○産婦健診助成の実施 ・利用者実人数 240 人 ・利用回数 延べ 435 回 ○妊婦歯科健診の実施 ・受診人数 70 人 （対象者数 207 人、実施率 33.8%） ○産後ケア事業 ・利用者実人数 8 人（ショートステイ延べ 12 泊、・デイサービス延べ 3 回、短時間デイ延べ 0 回） ○産前・産後ヘルパー派遣事業 ・利用者実人数 7 人

				・利用回数延べ 130 回 ○新生児聴覚検査 受検者数 210 人 ○「こんにちは赤ちゃん訪問」事業の実施 ・助産師等による全戸訪問 ・訪問数 231 人 (対象者数 224 人、実施率 103.1%) ○【新規】助産師による妊娠 8 か月頃の支援 ・電話相談数 146 件、(対象 186 人、実施率 78.5%) ○【新規】助産師による生後 8 か月児家庭訪問 ・訪問数 295 人 (対象 306 人、実施率 96.4%) ○出産・子育て応援ギフト事業 ・出産応援ギフト 200 件 ・子育て応援ギフト 221 件 ○乳幼児健康診査の実施 ・受診人数 ・4 か月児健診 249 人 (受診率 100.8%) 1 歳 7 か月児健診 270 人 (受診率 99.3%) 2 歳 6 か月児歯科健診 274 人 (受診率 92.3%) 3 歳 6 か月児健診 333 人 (受診率 99.4%) ○子育てアプリ(くまっこナビ) ・登録数 1,263 件 (令和 6 年 3 月末現在) ○【新規】くまっこナビを活用した乳幼児健診の問診票のデジタル化 (令和 5 年 10 月から) ・デジタル問診票利用者 333 人 (実施率 63.2%)
--	--	--	--	---

(8) 保育・幼児教育

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
25	民間保育所等助成 事業 (保育課)	1,370,465	・民間保育所等の適正な運営及び保育 内容を支援する。	○【拡充】食材費等物価高騰の影響を受けている民間保育園等に対して高騰分を支援することで、給食の内容を維持するとともに、副食費の子育て世帯への負担の転嫁を防止するために、町内に所在する民間保育園等に補助金を交付 R5.4～R5.10月 325円／人／月 R5.11～R6.3月 730円／人／月 延べ対象者数 13,428人 6,702,975円 ○【新規】医療的ケアが不可欠な「医療的ケア児」を受け入れた民間園に対して、看護師の配置等の費用に対し補助金を交付 対象者1人 4,504,000円 ○【新規】送迎用バスの安全装置を設置するための費用について補助金を交付 2園 1,160,000円 ○【新規】少子化対策として第2子に係る保育料を半額から無償とすることに伴う町内認定こども園、広域入所委託分の保育料減収分を施設型給付費で交付 7,554,400円 ○【新規】小学校就学前の範囲内で第2子の保育料半額分を令和5年9月以降無償化し、保護者の負担軽減を図り、少子化対策に取り組んだ。 民間保育所 6,934,090円 ○貝塚市との協定により、町の病児・病後児保育事業を貝塚市病児・病後児保育事業の広域利用により実施 延べ利用者数 152人 1,514,000円

26	保育所運営事業 (保育課)	278,387	・安全で質の高い保育を提供する。	○待機児童“ゼロ”に向けた取組みを実施 待機児童数 R5.4月当初 0人 ○【新規】小学校就学前の範囲内で第2子の保育料半額分を令和5年9月以降無償化し、保護者の負担軽減を図り、少子化対策に取り組んだ。 町立保育所 5,481,900円 ○町立保育所施設の維持管理 ＜備品＞ ・食器消毒保管庫 357,500円（東保育所） ・エアコン 1,518,000円（各保育所1台） 内訳 中央 東 北 合計3台 1台 1台 1台 ○【新規】保育のICT化：子どもの登降園管理や保護者との連絡などがより円滑にできる保育所運営に係る業務支援システムを導入。 4,516,600円 内訳 ＜備品＞ 4,043,600円 保育所 ノートパソコン・QRコードリーダー 各1台 操作用タブレット端末 各8台 ＜ソフトウェア使用料＞ 473,000円 ○【新規】不審者侵入の未然防止や保育士の子ども見守りを保管するカメラを設置し安全・安心な保育環境を整備。 2,620,200円 内訳 <table><tr><td></td><td>中央</td><td>東</td><td>北</td></tr><tr><td>ドームカメラ</td><td>11台</td><td>11台</td><td>9台</td></tr><tr><td>360度カメラ</td><td>2台</td><td>0台</td><td>0台</td></tr><tr><td>PTZカメラ</td><td>1台</td><td>0台</td><td>0台</td></tr><tr><td>録画記録装置</td><td>1台</td><td>1台</td><td>1台</td></tr><tr><td>モニター</td><td>1台</td><td>1台</td><td>1台</td></tr><tr><td>合計</td><td>16台</td><td>13台</td><td>11台</td></tr></table>		中央	東	北	ドームカメラ	11台	11台	9台	360度カメラ	2台	0台	0台	PTZカメラ	1台	0台	0台	録画記録装置	1台	1台	1台	モニター	1台	1台	1台	合計	16台	13台	11台
	中央	東	北																													
ドームカメラ	11台	11台	9台																													
360度カメラ	2台	0台	0台																													
PTZカメラ	1台	0台	0台																													
録画記録装置	1台	1台	1台																													
モニター	1台	1台	1台																													
合計	16台	13台	11台																													
27	学童保育運営事業 (保育課)	179,300	・学童保育所の適正な運営及び保育内容を支援する。	○待機児童数：R5.5.1 3人 ○空き教室を活用し、長期休業限定学童保育所を開設した。（中央小学校・北小学校、西小学校） ○南学童保育所の施設の一部更新や中央、東、南学童保育所のエアコンの更新を行い快適な保育環境を提供した。1,210,000円 学童保育所 中央 東 南 合計6台 2台 2台 2台 ○【新規】南学童保育所のユニットハウスを更新した。 南学童ともかぜ村 7,914,500円																												

(9) 学校教育

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
28	①小学校教育情報 化推進事業 ②中学校教育情報 化推進事業 (学校教育課)	①47,231 ②29,761	・GIGAスクール構想における1人1台学習用端末の整備及び全校の高速ネットワーク環境の整備を図る。	○全小中学校に1人1台学習用端末を整備 ・クロームブック 4,183台(R5末現在) (内訳) R2整備分4,082台 R3追加購入分 11台 R4追加購入分 0台 R5追加購入分 90台 ○全小中学校における高速ネットワーク環境の活用 ○全中学校に大型掲示装置(モニター)45台の活用 ○「校務支援システム」の活用 ○全小学校に大型掲示装置(電子黒板)137台の活用 ○全小中学校遠隔授業用の備品の活用 ビデオカメラ39台、ワイヤレススピーカー8台 ワイヤレスマイク29台 ○【新規】全小中学校校務用PC整備 78台 ○ICT支援員2名の配置
29	①小学校保健事業 ②中学校保健事業 (学校教育課)	①8,777 ②5,163	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、従前の子どもの日常の検温報告は不要とし、各学校から家庭への連絡ツールとして使用することにより、事務の効率化を図り教職員の負担軽減を目的とする。	○「健康観察アプリ」の活用
30	①小学校教育振興事業 ②中学校教育振興事業 (学校教育課)	①9,734 ②7,522	・「蔵書検索システム」の導入により学校図書館における図書検索の迅速化と蔵書管理の効率化を図る。 ・児童生徒一人ひとりが持続可能な社会の創り手となるべく、自己の確立をめざすとともに、コミュニケーション能力を育成し、異なる文化をもった人々と共に生きていく資質や能力をさらに育成できるよう、小学校において、公民連携による「漫オワークショップ」を実施する。 ・生徒の英語の定着状況を把握するとともに施策の検証検証を図る。	○「蔵書検索システム T00Li-S」の活用 ○「T00Li-S ぽけっと図書館」の活用 ※児童生徒が各自1人1台GIGA端末を使つての図書検索が可能。 ○漫オワークショップの実施(各小学校1回) ○中学3年生において英検3級相当以上の生徒の割合は57.6%となり、大阪府の目標である50%を超えた。

31	中学校部活動支援事業 (学校教育課)	2,276	・生徒の豊かな心を育てる教育の充実を図る。また、部活動外部指導者を町立中学校の部活動に配置し、部活動の振興及び地域との連携の促進を図る。	○【新規】中学校の部活動の地域移行に向けた体制の整備として各中学校に部活動指導員(会計年度任用職員)を任用 熊中 女子バレーボール部 1名 北中 サッカー部 1名、女子バレーボール部 1名、野球部 1名 計3名 南中 剣道部 1名、野球部 1名、吹奏楽部 1名 計3名 3校 合計7名
32	外国青年英語指導助手招致事業 (学校教育課)	23,790	・各小中学校にALT(英語指導助手)を配置し、英語教育の充実を図る。	○情報や考え方などを理解したり伝え合う資質・能力を育成するため、外国人英語指導助手(ALT)を配置した。 6名(小学校:3名、中学校:3名) 各小学校:週3日 各中学校:週5日
33	①小学校運営事業 ②中学校運営事業 (学校教育課)	①122,098 ②28,031	・学校図書館環境の充実を図り、児童生徒の図書活動を推進する。	○学校図書館司書の配置 ・全小中学校に配置(小学校週5日、中学校週4日) ・「学校図書館司書連絡会」の実施(11回) ・「研修会・選書会」の実施(3回・11回) ・学齢期子ども読書活動推進連絡会の実施(2回)
34	学習支援ボランティア派遣事業 (学校教育課)	702	・きめ細かい学習支援と開かれた学校づくりを目的とする。	○登録人数 36人 ○8小中学校に派遣した回数 延べ 595回
35	スクールソーシャルワーカー活用事業 (学校教育課)	24,048	・児童生徒の問題行動や児童虐待等に対して多面的な支援を実施し、課題を解決する。	○【拡充】「スクールソーシャルワーカー」の配置(全小中学校8校) ・非行や不登校、いじめなどの課題解決に向けて、相談活動や家庭訪問等を実施 ・人数等 中央 小学校 1人 週4日 西 小学校 1人 週4日 南 小学校 1人 週4日 東 小学校 1人 週4日 北 小学校 1人 週4日 熊取 中学校 1人 週4日 熊取北中学校 1人 週4日 熊取南中学校 1人 週4日

36	児童相談事業 (学校教育課)	2,657	・何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、不登校や集団不適応の状況にある児童生徒の増加する中、保護者や家庭を支援する相談体制を充実させる。	○「教育相談カウンセラー」(臨床心理士)の配置 ・成績、進路、生活、発達などの課題解決に向けた相談のうち対応が必要と判断した案件が対象 ・人数 教育相談担当 2人 発達相談担当 2人 ・教育・子どもセンターにおいて、水、木、金に相談を実施
37	安全・安心なまちづくり事業 (学校教育課)	270	・小学校4年生全児童及び初任者教職員等にCAPプログラム(暴力防止プログラム)を実施するとともに、全小中学校に設置している学校防犯システムを活用して学校内の安全確保を推進する。	○自分の命は自分で守るプログラムとして、小学校4年生全児童および教職員にCAPプログラム(暴力防止プログラム)を実施した。 ・受講学級数 13学級 ・教職員対象 1回 ・講師：特定非営利活動法人CAPいずみ ・全小中学校に学校防犯システムを導入し、児童生徒の入退校を管理した。
38	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 (学校教育課)	2,732	・全小学校区にスクールガード・リーダーを配置し、連携を密にしながら学校の安全確保に努めるなど、子どもたちの安全を守る取組を推進する。	○全小学校区へ「スクールガード・リーダー」を配置 ・人数 5人 ・ローテーションを組みながら小学校区を巡回し、教育委員会及び学校と情報を共有した。
39	ESD推進事業 (学校教育課)	1,438	・熊取中学校においてユネスコスクールへの加盟をめざし、ESDの取組を進める。	○ESD支援員(会計年度任用職員)を熊取中学校に配置し、ユネスコスクール加盟申請に向けた支援を実施。 ・第15回ユネスコスクール全国大会参加(校長他担当教員2名) ・ユネスコスクール加盟申請
40	DASHプロジェクト推進事業 (学校教育課)	176	・大阪体育大学と連携し、大学生によるスポーツ指導者の派遣を行い中学校の運動部活動の活性化と教職員の負担軽減を図る。	○スポーツ技術指導や安全・傷害予防、用具・施設の点検や管理等クラブ顧問の補助を行った。 ・熊取中学校1校に派遣 派遣回数10回
41	①小学校維持管理事業 ②小学校大規模改造事業 ③小学校施設整備事業 ④中学校維持管理事業 ⑤中学校維持管理	①145,952 ②108,855 ③62,750 ④80,745 ⑤48,613	・小・中学校施設・設備面において適時適切に整備を行い良好な教育環境を確保する。	①小学校施設の維持管理 ・屋内運動場空調設備整備工事設計業務【債務負担】(小学校共通) ・門扉改修工事(南小) ②小学校施設の大規模改造事業 大規模改造工事3期(東小) ・屋根改修工事 719㎡ ・外壁改修工事 1,695㎡ ・内装改修(床改修)工事 1,113㎡ ・電気設備工事 1式

	事業 (明許繰越) (学校教育課)			・機械設備工事 1 式 ・その他設備工事 1 式 ③小学校施設整備事業 ・【新規】増築等事業設計業務（中央小・西小） ・LED 取替工事（西小） ④中学校施設の維持管理 ・キュービクル外装等修繕業務（熊中） ・建具改修工事（熊中・南中） ・浄化槽解体工事（南中） ⑤中学校施設の維持管理 ・トイレ洋式化改修工事第 2 期（熊中）
42	①小学校給食事業 ②中学校給食事業 (学校教育課)	①197,344 ② 90,580	・安全でおいしい学校給食の充実を図るとともに、学校給食の適正な管理、運営を図る。	①小学校給食事業 ・【拡充】給食費を 8 月から 3 月まで無償化実施 ・【拡充】給食食材費高騰に対する補助 ・ガス回転釜更新（東小） ・食器消毒保管庫更新（中央小・南小） ②中学校給食事業 ・【拡充】給食費を 8 月から 3 月まで無償化実施 ・【拡充】給食食材費高騰に対する補助 ・マイコンスライサー更新（北中）

(10) 生涯学習

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
43	放課後子ども教室 推進事業 (生涯学習推進課)	426	・放課後や週末に子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、地域のボランティアの参画により、様々な体験活動、交流活動を推進する。	○「くまとり元気広場」の実施 ・実施場所 煉瓦館、中央小学校グラウンド、北コミュニティルーム（熊取北中学校敷地内） 東小学校での学習支援 他 ・開催回数 162 回 ・参加者数 延べ 1,174 人

44	子育て支援放課後 自習室事業 (生涯学習推進課)	458	・町内3中学校の余裕教室及び煉瓦館 を活用した「放課後自習室」を実施 し、子どもの安全な居場所づくりを 行う。	○中学校放課後自習室の開設 ・実施場所 熊取中学校、熊取北中学校、熊取南中学校、煉瓦館 ・開設日数 65日 70教室 (熊中14日15教室、北中7日7教室、南中11日12教室、煉 瓦館33日36教室) ・参加者数 延べ 256人 (熊中128人、北中59人、南中35人、煉瓦館34人)
45	公民館・町民会館 整備事業 (生涯学習推進課)	1,631,124	・公民館・町民会館の大規模改修・町 民会館ホールの建替えを行う。 ・公民館・文化ホールで使用する備品 等の購入	○(仮称)熊取町公民館・町民会館整備工事 ・契約期間 令和4年11月11日～令和6年2月14日 ・請負業者 株式会社旭工建 ・契約金額 1,655,934,500円(税込) ○(仮称)熊取町公民館・町民会館整備工事監理業務 ・契約期間 令和4年11月11日～令和6年2月14日 ・受託者 株式会社アール・アイ・エー大阪支社 ・契約金額 33,000,000円(税込) ○【新規】公民館・文化ホール用備品の購入 ・文化ホール用楽器類 32,845,436円 ・文化ホール舞台設備 13,736,800円 ・公民館料理教室設備 5,401,000円 ・両施設家具什器類 28,847,742円 ・両施設無線LAN設備 2,350,315円 ・その他両施設備品 7,183,868円 合計 90,356,161円
46	図書館運営事業 (図書館)	49,855	・まちづくりの情報拠点として機能す るよう、新鮮な資料や地域資料等を 幅広く収集するとともに、住民の課 題解決に役立つ情報の提供に取り組 む。	○図書及び雑誌等の購入 【図書】一般書4,346冊 児童書2,623冊 【視聴覚資料】音楽CD70点 【逐次刊行物】雑誌129誌 新聞9紙 ○住民への情報提供や貸出につながるような様々な資料の展示 284回(うち地域(行政含む)と連携した展示 62回) ○熊取電子図書館の運用 コンテンツ数:約33,500点 利用者数:1,201人 貸出数:4,007点

47	図書館施設管理事業 (図書館)	20,790	・安全・快適に施設が利用できるよう、適切な維持管理に努める。	○空調設備機器修繕（ガス焚冷温水発生機風圧スイッチ等、感震器、自動制御器老朽化部品交換） ○2階ホール排煙窓修繕 ○トイレ修繕（身障者用トイレウォシュレット、フラッシュバルブ、児童用トイレ換気扇、2階トイレ通路照明） ○消防用設備修繕（ガス漏れ火災警報設備、煙感知器、非常用放送設備絶縁不良） ○自動ドア修繕（駆動プーリ、ガイドレール）
48	図書館ふれあい事業 (図書館)	354	・住民の自主的な学習、文化活動を支援するため、多様な学習機会を提供し、会議室やホールの活用を推進するとともに、子どもの育ちを支援する。	○講演会 ・「中盛彬の『かりそめのひとりごと』はおもしろい」 開催日：令和5年9月23日（土） 参加人数：73人 共催：くまとり読書友の会 ・「盛彬版泉州の人国記『かりそめのひとりごと』はおもしろい その2」 開催日：令和6年3月24日（日） 参加人数：60人 共催：くまとり読書友の会 ・文化講演会「旅の楽しみ方」 開催日：令和6年3月17日（土） 参加人数：83人 共催：大阪観光大学、くまとり読書友の会 ○まちサロン ・日々の晩酌が少し豊かになる「ビール小噺」 開催日：令和5年7月2日（日） 参加人数：51人 共催：くまとり読書友の会 ・くまとり野菜収穫祭「自然薯・冬野菜の豆知識」 開催日：令和5年11月26日（日） 参加人数：36人 共催：くまとりこもれび菜園、株式会社 HITONOMA ・ワークショップ「カカオ豆からチョコレート作り体験」 開催日：令和6年2月10日（土） 参加人数：25人 共催：くまとり読書友の会 ○としよフェス

			・おはなしお楽しみ会、畳ワークショップ（まちサロン）、しっぽの仲間「えほんの会」（住民提案協働事業）、キッズマジシャンによるマジックショー（住民提案協働事業「エンタメ KUMATORI」） - 開催日：令和5年11月3日（祝・金） - 参加人数：延205人 - 共催：熊取文庫連絡協議会、くまとり読書友の会 ○いろいろなことばのえほんのひろば ・日本語以外の言葉の絵本を並べた「えほんのひろば」の開催 ・いろいろなことばの絵本の読み聞かせ会 ・世界の民族衣装体験 - 開催日：令和5年9月30日（土） - 参加人数：延224人 - 共催：大阪府教育委員会 - 協力：JICA 関西、大阪観光大学 ○展示「JICA 海外協力隊員の心に刺さった世界のことわざ、言い伝え展」 - 展示期間：令和5年9月29日～10月25日 - 協力：JICA 関西
49	読書活動推進事業 （図書館）	327	・子どもの読書活動を推進するとともに、子育て支援事業を行う住民等への支援を行う。 ○ブックスタートの実施（毎月乳幼児4か月児健診時） 251人にブックスタートパックを手渡した。 ○第11回図書館を使った調べる学習コンクール開催 応募人数 463人 ○ブックガイド「ほんのもり」（低・中・高学年、中学生向け4種類、学校司書と協同発行）作成。全校児童・生徒に配布。

（11）文化・芸術

	事業名 （所管課）	決算額 （千円）	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
50	公民館文化事業 （生涯学習推進課）	15,813	・住民の日頃の活動成果を発表する機会や場の提供及び優れた文化芸術の公演を行い、町民文化の活性化を図る。	○竣工記念式典 ・開催日 令和6年3月16日 ・内容等 - 第一部 テープカット - 第二部 式典（国歌・町歌斉唱、式辞・祝辞・祝電披露、感謝状贈呈、こけら落とし公演（能楽「高砂」） - 第三部 舞台公演（和太鼓くまっ鼓、大阪体育大学ダンス部、ルニオンバレエ）

			その他、にぎわい創造イベント ○開館記念こけら落とし公演 (徳永ゆうきコンサート) ・開催日 令和6年3月16日 ・内容等 町内団体の箏曲箏聖会、混声コーラスそよかぜ、熊取少年少女合唱団とのコラボレーション公演 ・来場者 380名 (日本センチュリー交響楽団) ・開催日 令和6年3月17日 ・来場者 372名 (松平健コンサート) ・開催日 令和6年3月24日(2回公演) ・内容等 住民とのコラボレーション公演 ・来場者 668名 (よしもと爆笑ライブ) ・開催日 令和6年3月30日 ・出演者 COWCOW、藤崎マーケット、ハイキングウォーキング、スマイル、マルセイユ、アンビシャス ・来場者 373名 ○【新規】熊取吹奏楽団の立ち上げ及び活動推進 ・団員要件 中学生以上の楽器経験があり、自身で楽器を所有している方 ・団員数 38名 ・初公演 公民館・文化ホール完成記念式典テープカットにおけるファンファーレ演奏 ・内 容 指導者謝礼・楽譜購入 ○【新規】文化ホール情報誌「きてキターネ」の発行 ・00 創刊準備号 令和6年1月発行 ・01 創刊号 令和6年3月発行 ・各 20,000部(町内全戸配布、周辺文化施設等配架)
--	--	--	---

51	中家住宅運営事業 (生涯学習推進課)	670	・各種文化事業を行い、住民の文化の活性化を図る。	○中家手づくりコンサート ・開催日 7月22日 ・出演者 アンサンブル・ドゥ・フルール 箏曲箏聖会、熊取町少年少女合唱団 アンサンブル・ビバーチェ ・来場者数 50人 ○中家戦国演芸祭 ・開催日 11月18日 ・内 容 忍者殺陣ショー、殺陣体験・手裏剣コンテスト 演芸寄席(落語・大道芸・講談) ・出 演 日本殺陣道協会 旭堂南海、笑福亭たま、豊来家板里、桂天吾 ・来場者数 123人 ○くまとりドキドキ博物館(補助事業) ・開催日 11月3日 ・内 容 歴史ガイドウォーク、山野草教室、藍染体験、茶会、縁日 ・参加者数 800人 ・主 管 くまとりドキドキ博物館実行委員会 ○くまとりドキドキ博物館桜まつり(補助事業) ・開催日 3月30日 ・内 容 蕎麦打ち実演販売、中家住宅解説、藍染作品販売、茶会、縁日、 コンテナガーデン教室 ・参加者数 357人 ・主 管 くまとりドキドキ博物館実行委員会
52	熊取交流センター 運営事業 (生涯学習推進課)	852	・歴史資料の展示や各種文化事業を行い、住民の文化の活性化を図る。	○煉瓦館企画展 ・重要文化財降井家書院保存修理工事完成記念ミニ展示 - 開催日① 4月29日～5月11日 - 開催日② 11月5日～30日 ○交流ホールコンサート vol.32 ・開催日 9月16日 ・出演者 弦楽アンサンブル クローバー、池邊・梅垣 ○煉瓦館文化発表会 ・開催日 11月3日 ・内 容 作品展示：121点、舞台発表：10団体 ・来場者数 1356人

				※例年開催の町民文化祭の代替事業 ○くまトリイルミネーションナイトの実施 ・実施期間 12月1日～25日 ・煉瓦館をイルミネーションライトで飾り付けたほか、保育所作品展を実施 ・来場者数 4,115人 ○クリスマスコンサート ・開催日 12月23日 ・出演者 五十君 忠氏（ハンドパン） 北川菜美子氏（ヴァイオリン） ・来場者数 138人 ○藍染め体験事業 ・実施期間 6月～11月 ・体験者数 66人
53	文化財保護事業 （生涯学習推進課）	14,888	・町内文化財の保存と活用を図る。	○【新規】文化財保存活用地域計画の作成 ・令和8年度の作成を目指し事前に文化財の総合的な把握を行うため、歴史的建造物悉皆調査を実施した。 - 期 間 令和5年6月30日～令和6年2月29日 - 内 容 熊取町内の築後50年を経過した建造物の所在地、形式など基礎情報の収集 - 受託者 公益社団法人大阪府建築士会 - 契約額 2,017,400円（税込） - 結果等 調査対象建造物1051件を確認し、報告書として取りまとめた。 ○【新規】史跡土丸・雨山城跡バイオトイレ設置 ・熊取町雨山青少年集いの場休憩所内便所設置工事設計業務 - 期 間 令和5年5月23日～9月29日 - 受託者 坂部建築設計事務所 - 契約額 1,529,000円（税込） ・熊取町雨山青少年集いの場休憩所内便所設置工事 - 期 間 令和5年10月30日～令和6年2月29日 - 受託者 大樹開発 - 契約額 11,206,800円 - 補助金 ポストコロナを見据えた受入環境整備事業補助金 補助金額 4,076,900円 所管省庁 国土交通省（観光庁）

大綱3 だれもがいつまでも健康でいきいきと活躍できるまちをめざします

(12) 健康・長寿

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
54	タピオステーション等推進事業 (健康・いきいき 高齢課)	6,336	・高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、地域においてリハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進し、要介護状態等となることの予防を推進する。	○住民運営の通いの場「タピオステーション」の立ち上げ ■立ち上げ実績 R5は、2カ所が新規で立ち上がった。 ・R5末時点 28カ所立ち上げ(H27:1カ所、H28:2カ所、H29:10カ所、H30:7カ所、R1:4カ所、R4:2カ所、R5:2カ所) ■支援内容 ・継続支援として、専門職や「タピオステーション応援団」(よしもと若手芸人の派遣(12カ所)、町内大学の学生(16カ所))の参画のコーディネート、効果測定のための体力測定(28カ所)を実施。 ・タピオステーション等運営支援補助金を活用し、活動の継続支援や資材等購入に対し支援を行った。(19地区)
55	高齢者保健事業・ 介護予防一体的実施事業 (健康・いきいき 高齢課)	3,620	・後期高齢者医療保険加入者を対象に、集団健診の結果による生活習慣病等重症化予防保健指導と、「フレイルチェック」および「フレイル相談」を実施し、運動・栄養・歯科など専門職との関わりの充実や必要な支援につなげる。	○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 次の業務へ専門職を配置 ■高齢者に対する個別的支援 ・生活習慣病等重症化予防 (受診勧奨対象者数:50人、受診確認者数:43人) ■通いの場等への積極的な関与 ・健診時、体組成計及び質問票でのフレイルチェック (実施数:1,627人、フレイル該当者:173人) ・健診後、フレイル該当者にフォロー事業を実施 (運動:8人、栄養:10人、運動+栄養:34人) ・タピオステーションでのフレイルチェックと健康教育を実施(体組成測定と栄養指導) (実施数:171人)

56	DASH プロジェクト 推進事業 (健康・いきいき 高齢課)	178	・住民の健康増進及び本町の活性化を 図るため、大阪体育大学との協働に より、『“熊取町×大阪体育大学” DASH プロジェクト』を実施する。	○フレイル予防マスター講座の開催 タピオステーションでの体力測定ボランティアをはじめとする健康づくり ボランティアの担い手を育成するため6日間開催。また、本講座受講者の内、 大阪体育大学主催の「体力若返り講座」受講者へ参加費の一部を助成。 【実施内容】 ◆フレイル予防マスター講座（6日間コース） 参加者：延べ160人 ◆健康づくり推進ボランティア育成助成金 助成者：7人
57	子ども等予防接種 事業 (子育て支援課)	96,548	・感染症及びまん延を予防する。	○風しんワクチン等接種費用助成事業の実施 ・対象者 風しん抗体検査の結果、抗体を保有していないと判定された人の うち、妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊婦の配偶者 ・助成者数 47人 ○風しんの追加的対策（第5期定期接種） ・抗体検査実施人数：60人 ・予防接種実施人数：12人 ○風しんの追加的対策（第5期定期接種）クーポン券の配布 ・対象者数：3,454人 ○HPV（ヒトパピローマウイルス）予防接種の積極的勧奨 ・対象者 定期接種対象（H22年生まれ、中1相当女子）185人 キャッチアップ接種対象（H18年生まれ、高2相当女子）172人 再勧奨（定期接種対象 H19～21年生まれ）546人 再勧奨（キャッチアップ接種対象 H9～17年生まれ）1,434人

(13) 保健・医療

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
58	健康増進事業 (健康・いきいき 高齢課)	42,100	・がん検診の利便性の向上による新規 受診者の獲得を目的とし、協会けん ぽの特定健診とがん検診の同日実 施する。受診勧奨については、電話 による再勧奨に加え、ハガキによる 再勧奨を実施することで若い世代 のがん検診受診の促進に努める。	○がん検診の推進 ■協会けんぽの特定健診とがん検診等の実施 R5.10.26：胃・大腸・肺がん検診 ■祝日レディースセット検診の実施 ・実施日 令和5年8月11日（日） 延べ547人受診 令和6年2月23日（金） 延べ448人受診 ・内 容 胃・大腸・乳・子宮及び骨粗しょう症検診 ■【新規】検診の自己負担額無料化 対象：乳・子宮頸・肺・胃がん（エックス線検査）、骨粗しょう症 ■受診勧奨の実施 ・ハガキによる受診勧奨の実施 ア. 節目年齢（40・45・50・55・60歳）の肝炎 ウイルス検診未受診者 2,500人 イ. 5がん（胃・大腸・乳・子宮・肺）の受診勧奨を実施 477人 ウ. 25・30・35歳の女性の内、令和5年度子宮 頸がん検診未受診者へ受診勧奨を実施 511人 エ. 過去5年間で大腸がん検診を受診した者の内、令和5年度に大腸が ん検診未受診者である61～68歳へ3がん（胃・大腸・肺）の受診勧 奨を実施 694人 再通知 634人 オ. 20歳到達の女性に受診勧奨通知 220人 再通知 205通 カ. 40歳到達の女性に受診勧奨通知 270人 再通知 253名 ■医療機関の協力を得て、かかりつけ医からがん検診の個別受診勧奨を実施 勧奨用チラシ作成 1,000枚 協力医療機関数 14機関 ○【新規】がん検診等 Web 予約システムの導入 契約期間 令和5年4月3日～令和5年6月30日

				受託者 株式会社 両備システムズ大阪支社 契約金額 1,056,000 円 ○【新規】がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業 ・補助率 (上限) 医療用ウィッグ 2 万円 人工乳房等 2 万円 乳房補正下着 1 万円 ・補助金交付件数 18 件 ・補助金額 310 千円
59	総合保健福祉センター維持管理事業 (健康・いきいき 高齢課)	205,500	・町民の健康の保持増進を図るとともに、町民相互の世代を超えたふれあいを深め、広く町民の保健福祉の向上に寄与することを目的とする総合保健福祉センターの適正な維持管理を行う。	○【新規】熊取町立総合保健福祉センター空調設備更新工事 契約期間 令和 5 年 6 月 27 日～令和 6 年 3 月 15 日 受託者 株式会社 日設 関西支社 契約金額 179,418,800 円
60	新型コロナウイルスワクチン接種事業 (健康・いきいき 高齢課)	204,006	・新型コロナウイルスワクチン接種の接種体制の構築及び接種の推進を図る。	○新型コロナウイルスワクチン接種の実施 新型コロナウイルスワクチン接種について、医師会や関係機関の協力のもと接種体制の整備を行うとともに接種の推進を図った。 ・町内協力医療機関：19 医療機関 ・接種実績（令和 5 年度） 1 回目接種者数：12 人（0.0%） 2 回目接種者数：13 人（0.0%） 3 回目接種者数：72 人（0.2%） 4 回目接種者数：237 人（0.6%） 5 回目接種者数：2,152 人（5.0%） 6 回目接種者数：9,090 人（21.2%） 7 回目接種者数：6,627 人（15.4%） ※対象者数：42,903 人
61	医療機関等助成事業 (健康・いきいき 高齢課)	7,600	・食材価格やエネルギー価格高騰による影響を受けている医療機関に対し、安定的な事業を支援する。	○【新規】医療機関等支援給付金 ・病院 200 万円×2 箇所 400 万円 ・診療所 10 万円×36 箇所 360 万円

(14) 運動・スポーツ

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
62	①社会体育推進事業 ②体育施設維持管理事業 (生涯学習推進課)	①103,578 ② 4,836	・活動環境の整備として引き続き指定管理者による管理運営を行うなど、住民サービスの向上と経費の縮減を図る。	○総合体育館等指定管理業務の委託 ・委託期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間) ・委託施設 総合体育館、町民グラウンド 町民グラウンド内テニスコート ○総合体育館高圧設備取替修繕 3,300,000 円 ○総合体育館コンデンサ等取替修繕 9,058,500 円 ○総合体育館 ZEB 化実現可能性調査業務 3,850,000 円 ○総合体育館非構造部材耐震改修工事修正設計業務 4,697,000 円
63	社会体育推進事業 (生涯学習推進課)	103,578	・住民ニーズに即応した地域スポーツ行政の充実を図る。 ・「くまとりスポーツコミッション」の活動支援を行う。	○指定管理者によるスポーツ教室等の実施 ・プール 30コース 延べ24,931人 ・アリーナ 17コマ 延べ 6,872人 ○第24回くまとり太極拳フェスティバルの開催 延べ450人 ○くまとりスポーツコミッションHP更新 第2回くまとり武道祭開催 延べ500人
64	社会体育推進事業 (生涯学習推進課)	103,578	・スポーツへの参加意欲を高める機会を創出する。	○「全国ソフトバレーボールフェスティバル大阪府予選大会」の開催 ・開催日 令和5年4月29日 100名 ○「第35回大阪府年齢別トランポリン競技選手権大会」の開催 ・開催日 令和5年5月6日、7日 500名 ○「スポーツエアロビック2023大阪オープン」の開催 ・開催日 令和5年7月29日、30日 280名 ○「シニアチャンピオンシップ in 関西(大阪府ドッジボール協会)」 ・開催日 令和5年8月13日 800名 ○第16回大阪府ジュニアトランポリン競技大会 ・開催日 令和5年8月20日 400名 ○第22回関西アジャタ関西選手権大会 ・開催日 令和5年7月23日 200名 ○第51回西日本トランポリン選手権大会 ・開催日 令和5年9月29日、30日 1,000名 ○混合バレーボール世界選手権大会全国予選 ・開催日 令和5年11月4日 250名 ○全国選抜卓球シングルス予選 ・開催日 令和6年1月21日 800名

65	町民総合体育大会 運営事業 (生涯学習推進課)	1,994	・住民の健康増進とスポーツ振興を推進するとともに、住民相互の親睦に寄与する。	○「町民総合体育大会」の開催（17種目） 延べ1,500人 ○くまとりスポーツフェスティバル 延べ1,100人
66	くまとりロードレース事業 (生涯学習推進課)	5,992	・住民のスポーツ振興と健康づくりの促進に寄与するとともに、広域的な交流機会を提供する。	○「第34回くまとりロードレース」の開催 令和6年3月3日 989人（3km、5km、10km）

(15) 高齢者福祉

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
67	高齢者福祉事業 (健康・いきいき 高齢課)	7,566	・現在実施している高齢者緊急通報事業に高齢者の見守り機能を追加し、自宅で健康に不安のあるひとり暮らし高齢者等に対して看護師が声かけをすることで不安を解消し、安心して生活できるよう支援する。	○独居高齢者の支援 ひとり暮らしの高齢者の緊急時や災害時に第三者へ通報できる緊急通報装置の設置に加え、ひとり暮らし高齢者の見守りの観点でのお元気コール（週1回コールセンターからの電話により健康状態を確認する。）を追加オプションとし、独居高齢者みまもり事業および緊急通報装置貸与事業として取り組んだ。 【実績】令和6年3月31日付利用者 176人（うちお元気コール利用者59人）
68	老人憩の家維持管理事業 (健康・いきいき 高齢課)	13,433	・高齢者に対し教養の向上やレクリエーション等のための場を提供しもって高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的とする老人憩の家の適正な維持管理を行う一方で、耐震化が必要な施設については耐震化及び長寿命化を併せて進める。	○老人憩の家併設地区集会所の耐震化 老人憩の家併設地区集会所について、野田区と調整のうえ、耐震診断を実施した結果、耐震安全性の判定要件を満足していた。

69	介護予防・生活支援サービス事業 (介護保険課)	76,608	・下記サービス・資源を利用し、自立支援、重度化防止につなげる。 ○通所型サービス事業 ・現行相当サービス ・緩和型サービス A ・通所型サービス C ○訪問型サービス事業 ・現行相当サービス ・緩和型サービス A ・訪問型サービス C ○介護予防ケアマネジメント	○訪問型サービス 1,545 件 ・現行相当サービス：1,393 件 ・緩和型サービス A：145 件 ・訪問型サービス C：7 件 ○通所型サービス 1,932 件 ・現行相当：1,235 件 ・緩和型 A：697 件 ○ふれあい元気教室（通所型サービス C） ・要介護（要支援）新規申請窓口受付時の申請者の現状を把握するための窓口シートを導入し、個々の状態に応じた説明・支援を行った。 ・短期集中予防型訪問サービスや教室に携わる専門職及びケアマネジャーによる自立支援型地域ケア会議を組み合わせ介護予防・自立支援として実施した。 ・【拡充】令和 5 年度より、年間 3 クール制から随時受入ができるように体制整備を行い、理学療法士、健康運動指導士等の専門職による運動指導、口腔・栄養面の指導により生活機能向上を図った。 利用者：実人数 29 人 延べ人数 34 人 ・専門職の同行訪問を実施することにより、利用者一人ひとりの生活課題を明確にすることで教室修了者の多くは生活機能が向上し介護サービスを利用せず暮らすことができており、タピオステーションなどの地域の多様な資源に繋ぐことができた。 同行訪問実施件数：44 人
70	一般介護予防事業 (介護保険課) (健康・いきいき高齢課)	22,556	・要介護・要支援状態にならないよう支援する。	○みまもりアンケート ・地域の実情に応じ効果的かつ効率的に収集した情報を活用するため、一人暮らしや閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握し、見守り支援や介護予防活動等の必要な支援を行った。 ・令和 5 年度の対象地域：西小学校区 ・対象者：①65 歳以上のひとり暮らし高齢者 370 人 ②75 歳以上の高齢者 736 人 ・アンケート対象者：1,106 人 ・回収率 76.3% ・アンケートの結果により総合事業案内：470 人 ・地域包括支援センターへの情報提供者数 33 人

71	包括的支援事業 (介護保険課)	69,714	・医療と介護の連携を強化し「地域包括ケアシステム」の構築を図る。	○地域包括支援センター業務委託 ・地域包括ケアシステムの中核を担う地域包括支援センターの機能強化を図るとともに、事業評価による事業の質の向上を行った。 ・【拡充】相談体制の強化（重層的体制整備事業の機能）を図るため、専従の生活支援コーディネーターを1名配置した。 ○熊取町医療介護ネットワーク連絡会（ひまわりネット）の開催（年4回／うち1回研修会） 会員数：178人 ・連絡会の取組内容：災害シートの活用・運用について 他 ・研修会のテーマ：「元気なうちから知っておこう！熊取町の在宅医療と介護の連携」 参加人数：住民43人 専門職12人 （募集定員50人） ○医療介護ネットワーク検討委員会の開催 （年4回：5/16 7/25 10/24 1/23） ○認知症施策の推進 ・認知症施策検討委員会の開催（年1回：11/30） ・徘徊高齢者等 SOS ネットワーク支援事業の実施 事前登録者数49人 協力者、協力機関160件（R6.3末現在） ・認知症カフェ（通称ひまわりカフェ）の実施 （年6回：5/27 7/28 8/5 11/2 1/19 3/13） カフェに取り組む団体数 6団体 ・認知症初期集中支援チームの活動 支援件数：1件 チーム員会議：12回 訪問件数：1回 ・認知症チェックシステム利用実績（令和3年度から導入） 家族用2,018人 本人用2,196人 ○見守りネットワーク協力事業者：47件（R6.3月現在） ○生活支援・介護予防サービス協議体の開催（1回：3/27）
----	--------------------	--------	----------------------------------	--

(16) 障がい者福祉

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
72	障がい者自立支援 給付費事業 (障がい福祉課)	997,778	・ 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの提供を行う。	○自立支援給付事業 ・ 介護訓練等給付費：実利用人数 364 人 ・ 身体障がい者（児）補装具購入助成金 実利用人数 52 人 ・ 自立支援医療費 実利用人数 更生医療 100 人 育成医療 10 人 療養介護 2 人
73	障がい者地域生活 支援事業 (障がい福祉課)	52,268	・ 障害者総合支援法に基づく市町村地域生活支援事業を実施する。	○地域生活支援事業実施 ・ 障害者自立支援協議会開催 2 回 ・ 福祉タクシー助成事業 タクシー券交付 実利用人数 275 人 ・ 意思疎通支援事業 派遣回数 42 回（手話 41 回、要約筆記 1 回） ・ 【拡充】地域活動支援センター事業 実利用人数 17 人 定期的な活動場所を新たに町内で開催した。11 回 ・ 訪問入浴サービス助成金 実利用人数 1 人 ・ 身体障がい者用自動車改造助成金 1 人 ・ 【拡充】日常生活支援用具購入費等助成金 実利用人数 97 人 人工呼吸器用発電機等を助成対象に追加し、在宅障がい者の災害時対策を図った。実利用人数 1 人（再掲） ・ 移動支援給付費 実利用人数 72 人 ・ 日中一時支援給付費 実利用人数 13 人 ・ 障がい者自動車運転免許取得助成金 1 人 ・ 【新規】「熊取町第 4 次障がい者計画」、「熊取町第 7 期障がい福祉計画・熊取町第 3 期障がい児福祉計画」を策定した。
74	児童発達支援事業 (障がい福祉課)	332,603	・ 児童福祉法に基づく障がい児通所支援サービスの提供を行う。	○障がい児通所給付事業実施 ・ 児童発達支援事業 実利用人数 22 人 ・ 放課後等デイサービス 実利用人数 125 人 ・ 保育所等訪問支援 実利用人数 3 人 ○軽度難聴児への補聴器購入等助成実利用人数 3 人

(17) 地域福祉・社会保障

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
75	①徴収事業 ②保健衛生普及事業 ③医療費適正化事業 (国民健康保険事業特別会計) (保険年金課)	① 3,728 ② 21,402 ③ 924	・保険料の収納体制の整備や医療費の適正化の取り組みを推進する。	①徴収事業 ○キャッシュカードを利用した口座振替受付サービスの実施 ・申込件数 345件 (全口座振替申込件数の66.6%) ○納付コールセンターを活用した現年度未納者に対する電話・文書催告の実施 ・納付勧奨実施件数 1,745件 ○コンビニ収納の実施 ・納付件数 9,358件 (全納付件数の18.13%) ○スマートフォンアプリ収納の実施 ・納付件数 1,208件 ○税込確保重点月間(12月)及び収納強化週間(5月)の休日・夜間収納相談窓口の開設・訪問徴収の実施 ・利用件数 20件 ○毎月第2・第4木曜日の夜間収納相談窓口の開設 ・利用件数 28件 ○令和5年度徴収率 現年度分 94.82% 滞納繰越分 17.60% ②保健衛生普及事業 ○国民健康保険被保険者健康づくり推進奨励事業(めざせ!がっちり健幸)の実施 ・「健幸で始めま賞」受賞者数 13人 ・「健幸でがっちり賞」受賞者世帯 39世帯 ・「スマホdeドック」受検者数 43人 ③医療費適正化事業 ○医療費通知の実施 年6回送付 計27,166件 ○ジェネリック医薬品差額通知の実施 年3回送付 計1,204件 ○医療費適正化啓発パンフレットの配布 6,500部購入 保険料本算定時同封 ○ジェネリック医薬品希望カードの配布 6,500枚購入 保険証更新時同時

76	①老人医療費助成事業 ②重度障がい者医療費助成事業 ③ひとり親家庭医療費助成事業 ④子ども医療費助成事業 (保険年金課)	① 4 ② 91,870 ③ 29,571 ④200,943	・福祉的配慮が必要な方々の医療費の自己負担額の一部を助成して経済的負担を軽減することで、健康の保持や福祉の増進を図る。	○助成内容 対象者に医療証を交付。1ヶ月に医療機関等1箇所につき500円までの負担有(子ども・ひとり親家庭医療は月2日まで、処方箋による薬局での負担金は不要)。助成を受けたのち、複数受診等で1ヶ月に支払った一部自己負担額の合計が3,000円(子ども・ひとり親家庭医療は2,500円)を超えた額の助成有。 ①老人医療費助成事業(過年度対応のみ実施) ・助成者数(R5年度延べ) 0人 ②重度障害者医療費助成事業の実施 ・医療証交付者数(R6.3.31現在) 782人 ③ひとり親医療費助成事業の実施 ・医療証交付者数(R6.3.31現在) 850人 ④子ども医療費助成事業の実施 ・医療証交付者数(R6.3.31現在) 6,612人
77	未熟児養育医療給付事業 (保険年金課)	2,111	・福祉的配慮が必要な方々の医療費の自己負担額の一部を助成して経済的負担を軽減することで、健康の保持や福祉の増進を図る。	○未熟児養育医療事務の実施 ・平成25年度から権限移譲により実施 ・対象者に医療券を交付。医療費は町が医療機関(国保連等経由)に支払い、後日自己負担額を徴収。 ・医療券交付者数(R6.3.31現在)4人 ※令和5年度給付実績は5人
78	地域共生社会推進事業 (生活福祉課)	17,646	・熊取町第4次地域福祉計画・熊取町第4次地域福祉活動計画に基づき、社会福祉協議会と連携し、計画の実行に取り組む。	○地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業への移行準備事業の実施 ・地域の相談受け止め・地域づくり事業 委託先である熊取町社会福祉協議会に2名、地域包括支援センターやさかに1名、地域づくり支援員を配置。地区福祉委員会によるいきいきサロンやタピオ体操を活用した地域の情報収集をはじめ、地域の課題を地域で解決できる環境の整備や地域のつながりづくりを強化する事業を実施。アウトリーチによる地域活動への参加の中で地域の課題や問題を収集し、適正な機関や支援につなぐことができた。 ・多機関の協働による包括的支援体制構築事業 相談支援包括化推進員を2名配置。地域から抽出される課題や問題の解決に向けて多機関との調整やコーディネートを行い、ネットワークの構築に取り組んだ。 ○【新規】「熊取町第5次地域福祉計画」・「熊取町第5次地域福祉活動計画」を作成した。

大綱4 住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちをめざします

(18) 市街地整備

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
79	熊取駅西整備事業 (道路公園課)	13,096	・熊取駅西側において、大阪府が実施する「主要地方道泉佐野打田線」の歩道整備事業への業務支援として、泉佐野市と連携を図りながら事業用地取得を行う。	○熊取駅西整備事業の実施 ・主要地方道泉佐野打田線用地測量業務(R4-1)の実施 (R4 繰越事業：完了) ・主要地方道泉佐野打田線物件補償調査等業務(R5-1)の実施 など

(19) 道路・交通

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
80	都市計画道路整備 促進事業 (道路公園課)	—	・広域幹線道路である大阪府都市計画道路の整備促進を図るため、各事業の推進及び早期事業化に向け国・府に対し強く要望を行うとともに、泉州山手線の整備促進のため貝塚市と合同で七山地区の地籍調査を実施する。	○事業推進及び事業化のための要望活動の実施 ・大阪岸和田南海線の事業推進 ・大阪外環状線の4車線化 ・泉州山手線の事業化 ※大阪岸和田南海線の整備状況 【第1期事業区間】 ・電線共同溝整備工事、物件調査、用地買収の実施 【第2期事業区間】 ・用地測量(住吉川右岸部)、物件調査、用地買収の実施 ※泉州山手線の整備状況 〔本町整備促進支援状況〕 ・昨年度事業完了の地籍調査(七山北地区)の成果について、大阪府及び国への承認申請を実施(R6.4.15 認証)
81	道路新設改良事業 (道路公園課)	29,511	・地域幹線道路網等の整備を行う。	○町道座頭原線他歩道整備事業の実施 ・町道座頭原線他測量設計業務(R5-1)の実施 ○町道大久保中14号線歩道整備事業の実施 ・町道大久保中14号線測量設計業務(R5-1)の実施 ・町道大久保中14号線歩道整備工事(R5-1)の実施 ※令和6年3月18日完成・3月31日供用開始 【整備概要】 (整備前) 里道 1.25m (整備後) 歩行者自転車専用道路 2.50m

82	道路維持事業 (道路公園課)	223,344	・道路舗装修繕など、道路施設の適切な維持管理を実現する。	○「くまとりアドプト・ロード・プログラム」の実施 ・道路の一定区間の清掃や緑化活動等を継続的に実施する団体の支援を実施 ○地域の魅力づくりプロジェクト〈熊取〉推進協議会への補助の実施 ・熊取駅周辺の緑化を行う緑化プロジェクトに対する経費の補助 ・緑化プロジェクトにおいて、植栽帯のエリアを拡大し、新規参画事業者（1者）による作庭を実施するとともに、夢広場等の既存植栽帯（10箇所）を町内造園事業者等の10者のボランティアにより手入れを実施 ○「熊取町道路橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化対策を実施 ・神楽橋橋梁修繕工事の実施 ・美穂出橋橋梁修繕設計業務の実施 ○道路施設点検事業の実施 ・道路橋梁長寿命化修繕計画の更新 ・大型ボックスパートの点検業務の実施 ・熊取駅東西自由通路（跨道部）の点検業務の実施 ・道路照明灯（50基）の点検業務の実施 ※3ヶ年計画：R5年度末現在 242/242基 点検済 ○道路舗装修繕事業の実施 ・道路舗装路面性状調査（104.6km）業務の実施 ※対象：その他町道、歩道など ・「熊取町道路舗装修繕計画」に基づく優先順位により計画的に舗装修繕を実施（車道4,149㎡） ・道路舗装修繕計画及び歩道舗装修繕計画の更新
83	交通安全施設整備事業 (道路公園課)	18,514	・交通安全施設の整備を行う。	○交通安全施設の設置（道路反射鏡・区画線等） ・道路反射鏡設置 3基 ・区画線設置 2,869m ○通学路における路側帯のカラー化等 ・路側帯カラー化 559m（223㎡） 町道小垣内大浦線 106m（42㎡） 町道青葉台2号線 453m（181㎡） ○【新規】横断者注意喚起灯の設置 ・久保交差点 ・町道野田泉佐野線（キテーネホール前）

84	町内循環バス運行事業 (道路公園課)	47,043	・町内の主要公共施設等と各地域を結ぶバスの運行を行う。	○町内循環バスの運行 ・運行内容 全4コース(年末年始・祭礼(だんじり祭)の日のみ運休) 平日:第1便から第8便の運行 土日祝:第2便から第7便の運行 (5月~8月は第8便も運行) ※令和5年度無償運行実施(エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策) ・乗車人数 96,787人 ・臨時運行 12便(11日)
85	地域公共交通事業 (道路公園課)	4,729	・将来的にも持続可能な地域公共交通体系を構築するため、(仮称)熊取町公共交通計画策定に向け、議論・協議を行う。	○熊取町公共交通協議会(R5.2.3設置)の開催 計3回開催 委員数19名 ○令和5年度熊取町地域公共交通計画策定支援業務の実施 ・熊取町における公共交通の課題抽出・整理や今後の地域公共交通ネットワークの形成に関する基本的な方針の検討及び協議会運営支援など

(20) 下水道

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
86	資本的収支 下水道建設事業 (下水道事業会計) (下水道河川課)	613,455	・公共下水道事業未整備地区への主要管渠の延伸及び各戸への面整備を推進する。 ・国の交付金を活用し、下水道施設の点検・調査・修繕・改築を行い、施設全体の維持管理の最適化に努める。 ・R5年度末に公共下水道基本計画の期間満了を迎えるにあたり、公共下水道基本計画を変更する。 ・事前防災・減災のための「雨水管理総合計画」の策定に向け、想定最大規模降雨に対する区域の指定に必要な資料として内水浸水想定区域図を作成する。	○小垣内、久保、大宮、和田地区において、公共下水道工事の実施。 ・公共下水道布設工事(R5-1~5) ・公共汚水ます設置工事(R5-1~2) ・令和5年度末整備面積655.1ha(対前年度31.3ha増) ・人口普及率84.6%(対前年度0.8ポイント増) ・令和5年度施工実績施工延長L=972m ○五月ヶ丘、小谷、朝代、青葉台地区における設計業務委託の実施 ・公共下水道実施設計業務(R5-1~4) ○マンホールポンプ施設更新工事の実施 ・マンホールポンプ施設更新工事(R5-1) ○公共下水道基本計画の変更業務及び熊取町の内水浸水想定区域図作成業務の委託の実施 ・令和5年度熊取町南大阪湾岸中部流域関連公共下水道基本計画変更検討業務 ・【新規】熊取町内水浸水想定区域図作成業務

87	収益的収支計画的で持続可能な事業運営 (下水道基本計画) (下水道河川課)	4,113	・安定的な下水道事業を継続するため、経営の効率化・健全化を図る。	○令和6年4月より下水道使用料の改定を実施。 改定の実施に向け、広報やホームページ、下水道使用料の改定ちらしを各戸配布し、住民への周知を行う。 ・令和5年9月号広報で巻頭の下水道特集に合わせて、下水道使用料の改定記事を掲載 ・令和6年2月～3月に下水道使用料改定ちらしを各戸配布 ・施設などの大口使用者には職員による戸別訪問を行い、料金改定の説明を行った。 ○公営企業会計システムの更新の実施 ・公営企業会計システムが、導入後6年以上が経過し、保守を受けることが難しくなっていることや、令和5年10月1日以降はインボイス制度への対応が必要となることから、システム及び機器の更新を行った。
----	---	-------	----------------------------------	---

(21) 公園・自然環境

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
88	緑化対策事業 (道路公園課)	8,426	・永楽ダム周辺の桜の景観を次の世代へと引き継ぐために、樹勢の衰えている樹木の回復や、植替え、補植を計画的に行う。	○永楽ダム周辺桜保全業務の実施 ・永楽桜保全委託業務(R5-1) 桜が植えられている箇所の雑木の伐採及び桜の植栽(30本)を実施
89	公園整備事業 (道路公園課)	34,709	・まちなかの公園の施設更新整備を行う。	○「熊取町公園施設長寿命化計画」に基づき、奥山雨山自然公園の施設更新を実施 ・奥山雨山自然公園施設更新工事(R5-1) 奥山雨山自然公園の階段の更新 ※社会資本整備総合交付金 15,515千円を活用 ・奥山雨山自然公園施設更新工事(R5-2) 奥山雨山自然公園のサイン(8基)の更新

90	公園維持管理事業 (道路公園課)	119,594	・都市公園の適切な維持管理を行う。	○永楽ゆめの森公園の指定管理者による管理運営を実施 指定管理者：株式会社ハウスビルシステム 指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日 ○都市公園施設の更新及び修繕工事を実施 ・公園施設維持修繕工事(R5-1) 遊具修繕(35施設)、ベンチ修繕(17基)、管理施設修繕(4施設)を実施 ・都市公園照明灯更新工事(R5-1) 公園内(12公園)の照明灯についてLED化(24基)を実施 ※公園内の照明灯(137基)に対し5ヵ年(R3～R7)でLED化を図る。 ○公園施設長寿命化計画の更新 ・公園施設長寿命化計画策定業務 都市公園115公園の施設について、長寿命化計画を更新。 ※社会資本整備総合交付金 10,000千円を活用
91	町有林管理事業 (道路公園課)	6,844	・森林の持つ多面的な機能を発揮するため、町有林の保全を行う。	○町有林の保全業務を実施 ・町有林ナラ枯れ防除業務(R5-1) 町有林(奥山雨山自然公園)のナラ枯れ被害木の伐倒並びに害虫駆除(48本)を実施 ※森林病虫害等防除事業補助金1,485千円を活用 ・町有林伐採業務(R5-1) 町有林(奥山雨山自然公園)の枯木伐採(32本)を実施 ※森林環境譲与税2,310千円を活用 【基金積立額：7,544千円(R6.3.31時点)】

(22) 住環境

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
92	公害対策事業 (環境課)	320	・水質、騒音等の環境監視を引き続き行うとともに、各種の公害対策について、公害が発生すれば大阪府と連携して問題解決に向けて取り組む。	○町内3河川(見出川・住吉川・雨山川)の水質検査の実施 ・検査回数 年4回 ○環境騒音測定の実施 【道路に面する地域:2カ所】 ・検査回数 年1回 【一般地域(道路に面する地域以外の地域):17カ所】 ・検査回数 17カ所を3グループに分け、毎年1グループずつ1回
93	環境一般事務経費 (環境課)	4,239	・町内における環境保全のひとつとして行う飼い主のいない猫の不妊・去勢活動を支援するとともに、どうぶつ基金さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)へ参加し、地域猫活動を行う登録団体への支援を行い、町内の野良猫頭数の抑制に取り組む。 ・第2期熊取町一般廃棄物処理基本計画(中間見直し版)やくまとりプラスチックごみゼロ宣言に基づき、廃棄物の減量化や海ごみゼロのための啓発・教育を実施する。 ・マイボトルの普及啓発及び食品ロスの削減に取り組む。	○飼い主のいない猫不妊去勢手術費用補助金 補助実績 @5,000円/頭×29頭 ○【新規】どうぶつ基金さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)へ参加 ・さくらねこ無料不妊手術チケットを活用し、地域猫を適切に管理する地域猫活動に対する支援制度を制定した。 実績 猫の家 0頭 地域猫の会 11頭 ばら 0頭 ○環境教育セミナー R5.6.16~7.6 計5校 対象:町内小学4年生365名 ○環境セミナー R5.7.24開催 (参加者:子ども7名、保護者4名) ○環境フェスティバル(来場者:1300名) ○廃棄物減量等推進員研修会 ・令和5年7月12日開催 ・参加者 27名 ○熊取町エコプロジェクト 【プラごみ削減施策】 ・ひまわりドーム、永楽ゆめの森公園、各小学校に設置したマイボトル用給水機を引き続き運用した。(各小学校:熱中症対策含む) 【食品ロス削減施策】 ・お持ち帰りや小盛り対応協力可能な町内飲食店の登録制度(熊取町mo++ECO食べきり協力店制度)の継続 ・各公共施設窓口でフードドライブ窓口常設を継続 各公共施設に設置の食品回収窓口(フードドライブ)で回収した食品をフードバンク、町内子ども食堂等へ寄付するなど、様々な取組みを実施した。

94	町営斎場運営事業 (環境課)	30,176	・葬儀及び火葬に関する業務を支障なく遂行するため、補修計画等に基づき、火葬炉等の補修を行い適正な管理運営に努める。	○火葬の実施 ・実施件数 399 件 ○補修計画に基づく補修の実施 ・3号炉の改修、高圧ケーブル取替
95	一般管理費 墓地基金積立金事業 (墓地事業特別会計) (環境課)	21,093	・熊取永楽墓苑の適切な維持管理を行う。	○墳墓の追加募集(使用許可書の発行) ・件数 15 墓 ○熊取永楽墓苑の維持管理 ・指定管理者による除草、清掃、修繕等
96	環境美化推進事業 (環境課)	1,727	・大阪でいちばんきれいなまち「くまとり」をめざして、地域住民との協働により美化活動を推進する。	○路上喫煙禁止区域の指定等 ・平成25年10月にJR熊取駅前周辺、夢広場、町道熊取駅前線を、令和4年12月に熊取駅西交通広場を路上喫煙禁止区域に指定。 ・路上喫煙禁止等の周知(啓発物品配布) ・年間を通じて、職員、安全パトロール隊による、指導啓発、パトロールを実施。 ・路上喫煙禁止区域周知用路面シートの購入、貼付 ○自治会等による環境美化清掃活動の支援 ・環境美化強調月間を中心とした環境美化清掃活動を実施する自治会に、ごみ袋(29,020枚)、 軍手(12,144双)を配布。 ・住民の環境美化意識の醸成に繋げるために環境美化功労者に表彰状を贈呈。 (11団体) ○「第2次美しいまちづくり推進基本計画」及び「第1期美しいまちづくり行動計画」により事業実施。

(23) 循環型社会

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況																																				
97	環境センター運営事業 (環境センター)	394,156	・適切かつ効率的なごみ処理体制の整備を行う。	○ごみ処理広域化 ■広域化に係る会議等 ・ごみ処理広域連携検討会 3回実施 ・ごみ処理広域連携検討会担当者会議 9回実施 ・地元説明会(泉佐野市) 9回 ・環境施設広域化調査特別委員会(熊取町議会) 1回実施 ・新ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会 2回実施 ・令和6年3月 新広域ごみ処理施設整備に係る経費の負担に関する協定書締結(令和5年度分) ■広域化施設整備に係る契約業務 ・業 務 名:新ごみ処理施設整備事業に係る施設整備基本設計策定及び環境影響評価等業務 ※アセス調査項目追加による契約変更あり 契約期間:令和3年度～令和6年度 契約業者:株式会社建設技術研究所大阪事務所 ・業 務 名:循環型社会形成推進地域計画(第2期)策定業務 契約期間:令和5年4月24日～令和6年3月29日 契約業者:株式会社建設技術研究所大阪事務所 ■広域化施設整備業務に伴う熊取町負担金 ・13,154,950円(税込) ○ごみ処理量(搬入量) (単位: t) <table><tr><td></td><td>可燃ごみ</td><td>資源ごみ</td><td>粗大ごみ</td><td>合計</td></tr><tr><td>R3 年度</td><td>9,754</td><td>1,354</td><td>1,649</td><td>12,757</td></tr><tr><td>R4 年度</td><td>9,491</td><td>1,292</td><td>1,456</td><td>12,239</td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>9,177</td><td>1,260</td><td>1,326</td><td>11,763</td></tr></table> ○「リサイクル品提供事業」平成20年度より事業開始 <table><tr><td></td><td>実施月</td><td>来場者数</td><td>譲渡点数</td></tr><tr><td>R3 年度</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>R4 年度</td><td>11月</td><td>381</td><td>34</td></tr><tr><td>R5 年度</td><td>11月</td><td>366</td><td>38</td></tr></table> ※コロナ禍により令和3年度の事業は中止。		可燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	合計	R3 年度	9,754	1,354	1,649	12,757	R4 年度	9,491	1,292	1,456	12,239	R5 年度	9,177	1,260	1,326	11,763		実施月	来場者数	譲渡点数	R3 年度	—	—	—	R4 年度	11月	381	34	R5 年度	11月	366	38
	可燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	合計																																				
R3 年度	9,754	1,354	1,649	12,757																																				
R4 年度	9,491	1,292	1,456	12,239																																				
R5 年度	9,177	1,260	1,326	11,763																																				
	実施月	来場者数	譲渡点数																																					
R3 年度	—	—	—																																					
R4 年度	11月	381	34																																					
R5 年度	11月	366	38																																					

				○長期維持補修計画に基づく修繕 ■H M I（ごみ焼却施設運転操作システム）更新業務 ・契約の相手方：荏原環境プラント(株) ・履行期間：令和5年5月30日～令和6年3月29日 ・契約金額：48,400,000円(税込) ■誘引送風機インバータ更新業務 ・契約の相手方：荏原環境プラント(株) ・履行期間：令和5年5月30日～令和6年3月29日 ・契約金額：12,100,000円(税込)
98	地球温暖化対策事業 (環境課)	6,450	・地球環境に配慮した行動が進められるよう、地球温暖化対策実行計画に基づき、排出される温室効果ガスの削減に引き続き取り組むとともに、温暖化対策の普及促進を図る。	○第4次熊取町地球温暖化対策実行計画に基づく取組 地球温暖化対策推進委員会及び同作業部会の開催 年2回 令和4年度 温室効果ガス排出量実績の評価 平成25年度（計画基準年度）比23.7%の削減 各推進員年間行動計画の作成及び中間自己評価 ○【新規】サイト名：熊取×ゼロカーボンチャレンジ！ 公開日：令和5年12月4日（以降随時更新中） 脱炭素社会に向けた住民の行動変容や、町内事業者の脱炭素に係る取組みの促進につながる情報発信、及び、脱炭素に向けた取組み実績等の情報を一元化して発信し、町全体の脱炭素社会への意識の向上を図った。 ○【新規】太陽光発電設備導入可能性調査（10箇所） 【可能性が高く見込める施設】 中央小学校、南小学校、北小学校、熊取中学校、熊取北中学校、図書館、教育・子どもセンター 【公有地】 役場庁舎公用車用駐車場、来庁者駐車場、ひまわりドーム駐車場

99	ごみ収集事業 (環境課)	206,186	・粗大ごみ・不燃ごみ回収の利便性の向上を図る。 ・一般廃棄物の排出抑制や減量化、再資源化の推進を図る。	○小型不燃ごみの拠点回収の実施 ・開始日 平成26年度4月1日 ・2カ所の回収拠点（役場及び駅下にぎわい館）に置いて回収 ・受付件数 （役場） 200件 241袋 （駅下） 226件 261袋 ○指定袋等取扱所において回収（3カ所） ・開始日 平成29年4月1日 ・受付件数 2件 2袋 ○使用済み小型家電の回収 ・開始日 平成26年7月1日 ・町内公共施設6カ所に回収ボックスを設置 ・回収量 1245.60kg
100	①環境一般事務経費 ②ごみ収集事業 (環境課)	220 内訳 ①有料道路(9) ②ごみ収集臨時(211)	・ごみの減量化や再資源化を計画的に推進するため、令和6年度から15年度までを計画期間とする「第3期熊取町一般廃棄物処理基本計画」を作成する。	○【新規】令和6年3月に「第3期熊取町一般廃棄物処理基本計画」を策定。循環型社会形成の実現に向け、基本的な方針、方向性を維持しつつ環境・経済・社会情勢の変化に対応すべく、実態に即した計画とした。計画策定に際し、「熊取町廃棄物減量等推進審議会」を3回開催。(8/30、11/6、12/18) 審議会委員 13名
101	し尿処理事業 (環境課)	69,662	・令和3年度から開始した泉佐野市田尻町清掃施設組合へのし尿処理事務の委託を継続する。	○令和3年4月1日事務委託開始 【R5委託処理実績】 ・し尿 6,354.32 k l ・浄化槽汚泥 5,117.64 k l - 合計 11,471.96 k l
102	旧し尿処理場維持管理事業 (環境課)	5,390	・旧大原衛生公苑跡地の除草等維持管理を行う。 ・旧大原衛生公苑の跡地利用において、土壌汚染調査を行う。	○除草業務の実施 ○土壌汚染状況調査の実施
103	公用車維持管理事業 (総務課)	322	・公用車に電気自動車を導入する。	○【新規】役場からカーボンニュートラルを牽引するため、公用車に電気自動車2台を導入した。

(24) 商工業・サービス業

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
104	商工業振興事業 (産業振興課)	8,644	・商工会が実施する事業への支援を行い、地場産業の振興及び活性化を図る。	○商工会が実施する事業への支援の実施 ・農業祭との同時開催、わいわいフェア（商工会 わいわいフェア実行委員会主催） 開催日：令和5年12月3日 補助金：200,000円 ・熊取コロッケ販売促進への支援 店舗等販売実績 86,850個
105	産業活性化基金事業 (産業振興課)	9,224	・町内中小企業者の経営安定に資するため、府の制度融資の斡旋や町融資制度を利用した方に対し信用保証料を補助するとともに、新たなチャレンジをする人を支援し、町の産業を活性化するため、新ブランド創造、創業者、農業者、中小企業者への補助事業を実施した。	○産業活性化基金事業の実施 ① 熊取ブランド創造支援事業 ・ブランド施策等推進活動事業補助金：2件 959,198円 ・商品化促進支援事業補助金：1件 750,000円 ・販売力強化支援事業補助金：3件 1,500,000円 ② 「くまとりやもん」販売促進事業 ・認定商品販売促進事業補助金：1件 100,000円 ・「熊取コロッケ」販売促進事業補助金：50件 2,288,200円 ・戦略作物栽培補助金：12件 307,900円 ③ 熊取ブランド・にぎわい創造支援事業 ・地域・産業活性化等イベント支援事業補助金：1件 550,000円 ④ 創業支援事業 ・駅周辺近隣商業地域事業所開設支援補助金：1件 1,500,000円 ⑤ 既存事業者支援事業 ・スマート化による生産性向上：1件 750,000円 ⑥ 農業事業者支援事業 ・農作物庭先販売支援補助金：2件 213,400円 ⑦ 中小企業経営支援（信用保証料）事業 ・信用保証料補助金：1件 50,000円 ⑧ 中小企業経営支援（利子補給金）事業 ・小規模事業者経営改善資金融資（マル経）：20件 254,800円

106	地域振興券事業 (産業振興課)	158,739 明許繰越額 220,076	・物価高騰等により大きな影響を受けている住民生活及び地域経済を支援し、地域振興を目的に、町内の店舗で利用できる地域振興券を住民に交付する。	○地域振興券の実績 【第3弾】 使用期間：令和5年9月16日～令和6年1月31日 交付者数：43,052人 交付振興券総額：129,156,000円 換金振興券総額：126,210,500円 換金率：97.7% 【第4弾】 使用期間：令和6年4月22日～令和6年8月31日 ※以下、8/2時点 交付者数：42,943人 交付振興券総額：214,715,000円 換金振興券総額：151,186,000円 換金率：70.4%
-----	--------------------	-----------------------------	---	--

(25) 農林業

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
107	農業振興事業 (産業振興課)	9,998	・地産地消の取り組みを推進する。	○品評会の実施、野菜出荷協議会等への助成 ・8月、12月品評会 8月(2回：品評会、夏野菜市)、12月(1回：品評会) ○「第12回熊取ふれあい農業祭」の開催 ・地元産農作物の良さを知っていただく機会を提供 ・わいわいフェア等との合同抽選会の実施 ・開催日 令和5年12月3日 ・来場者数 約7,000人
			・農地の多面的な活用を図ることにより、農業に関する理解の高揚を図る。	○町立5小学校における農業体験学習の実施(植え付けから収穫まで) 中央小学校「米」 北・東・南・西小学校「さつまいも」 ○町内11箇所レクリエーション農園の斡旋

			・有害鳥獣の防除を推進し、農作物の生産性の向上を図る。	○アライグマ対策の実施 ・貸出捕獲檻 延べ53台 ・捕獲頭数 33頭 ○イノシシ対策の実施 ・鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金を利用し、熊取猟友会に捕獲依頼。 ・捕獲檻 47台（ほか、捕獲罟等） ・捕獲頭数 54頭
			・新規就農者を支援する。	○認定新規就農者への支援 ・経営が不安定な就農直後の所得の安定の確保を目的に、最長5年間、年間最大150万円 - 新規就農者3名3,625,000円（1,500,000円×2名+625,000円×1名）

（26）観光・交流

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
108	地域活性化事業 (産業振興課)	17,619	・観光振興（にぎわいづくり）によるまちづくりの推進を行う。	○熊取町駅前観光案内所：駅下にぎわい館の運営 ・観光案内に加え、地場産野菜や「くまとりやもん」等の物販や手荷物の一時預かり、携帯電話充電サービスなど利用者の利便性を高める取組みを実施した。とりわけ、物販については、ECサイトの運用や「もうすぐ万博開幕500日前！EXPO FES！」に参加し、特産品の展示・販売を行った。 ・令和5年度観光案内所利用実績 35,890人 ・観光協会運営補助：13,525,000円 ○堺市以南、9市4町の泉州地域一帯で連携したプロモーションの実施 ・（一社）KIX泉州ツーリズムビューロへの補助金交付：1,469,000円 ○果樹農園支援事業 ・野外活動ふれあい広場近傍地にあるブルーベリー農園「和田山 BERRY PARK」のブルーベリー狩り用第1・2農園の運営支援及び出荷用の第3農園の育成支援のために補助を行った。 - ブルーベリー狩りの利用実績 - 令和5年度：692人 - 果樹農園支援事業補助金：2,328,192円 ○くまとりやもん」の認定 ・新規認定11品（うち、8品ブルーベリー使用） ・令和5年度末時点認定品数 53品（うち、19品ブルーベリー使用）

(27) 雇用・就労

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
109	地域就労支援事業 (産業振興課)	678	・ 勤労支援策として、就労機会の創出、 提供を行う。	○地域就労支援事業の実施 ・ 就労支援相談（月、水 午後１時～５時） ・ 相談者数 21人 ○就業資格取得支援助成金の実施 ・ 利用者 1人

大綱５ 健全で安定した持続可能なまちをめざします

(28) 行財政運営

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
110	くまとりふるさと 応援寄附事業 (企画財政経営 課)	228,111	・ 地場産品を中心とした謝礼品を贈呈 することにより、自主財源の確保を 図る。	○寄附実績 2,838件、433,649,689円
111	転入・定住促進事業 (企画財政経営 課・税務課)	5,700	・ 町内での３世代近居等のための住宅 取得を補助金（課税免除）により支 援する。 ・ 社宅等を所有又は賃借した法人に対 して補助金により支援する。	○３世代近居等支援（補助金） ・ 補助金交付実績：5,400,000円 54件（うち転入：21件）×10万円 ・ 家屋調査案内に制度周知チラシを同封。 ○３世代近居等支援（課税免除） ・ 令和５年度課税免除件数 83件（うち転入31件） ○社宅誘致支援 ・ 補助金交付実績：300,000円（2件×15万円）
112	行政改革推進事業 (企画財政経営 課)	48	・ 町の行財政改革推進に係る必要な助 言及び提言をいただくため、行政改 革審議会を開催する。	○行政改革審議会の開催（1回） ・ 第４次行財政構造改革プラン「アクションプログラム」の令和４年度実績 報告

113	電子計算システム整備事業 (情報政策課)	32,591	・法改正等にもなう電子計算システムの開発・改修を行う。	○【拡充】行政手続のオンライン化拡大 ・汎用的に電子申請フォームが作成可能なシステムを導入し、手続のオンライン化を進めるべく、関係課と協議の上、約 50 手続について実現可能性含め検討を進めることとした。 ・当該システムを活用し、イベント募集等比較的簡易に電子申請が可能な 13 手続について、オンライン化を実施した。 ・令和 6 年 4 月、「熊取町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例及び施行規則」を策定した。
114	電子申請システム管理事業 (情報政策課)	159,011	・電子計算システムの適正な管理を行い、安定的なサービスを提供するとともに、重要かつ機密性の高い情報のセキュリティ対策を行う。	○【新規】窓口での音声文字化の試行及び議事録作成支援システム導入 ・聴覚障がい者の方や高齢者の方など、声の聞き取りにくい方と円滑なコミュニケーションを実現するため、音声を自動で文字に変換して表示する、音声認識 AI システムを試行導入した。また、議事録作成にも利用可能であることから、編集用ソフトと組み合わせることで、職員の事務効率化を図った。
115	戸籍事務事業 (住民課)	29,126	・自動交付機廃止（令和元年 5 月 1 日廃止）にかかる新たなサービスとして、マイナンバーカードを利用した住民票・戸籍謄抄本等のコンビニ交付サービスを導入する。 ・コンビニ交付サービス導入にあわせ、行財政改革の観点から、駅下にぎわい館における証明書等交付サービスを終了（平成 31 年 3 月 31 日をもって終了）	○コンビニ交付サービス ・H31 年 4 月 16 日利用開始 ・利用可能時間：午前 6 時 30 分～午後 11 時 ・取得できる証明書：住民票、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、戸籍の附票 *戸籍については、住民登録が本町以外であっても、本籍地が本町の場合、取得できる本籍地証明に対応 ・手数料については、窓口より 100 円減額 ・コンビニ交付稼働率 36.8% (R4 年度 27.3% R3 年度 21.4%) ○マイナンバーカード交付状況 ・マイナンバーカード交付件数： R5 年度末累計 34,642 件 R5 年度単年 4,431 件 年度末累計件数 (R4：30,211 R3：20,626) ・マイナンバーカード交付率： R5 年度末 80.5% 対前年度比 10.5P 増 年度末交付率 (R4：70.0% R3：47.5%)

				○マイナンバーカード交付にかかる休日開庁：月 1 回 (R2～R5 年度：月 1 回 R1 年度 5 回 (5・8・11・2・3 月) 開庁) ○マイナンバーカード交付にかかる夜間開庁：月 2 回 (R2.2 月より実施) ○タブレット端末を利用したマイナンバーカードオンライン申請 (R2.2.19～) 及び本人限定受取郵便による交付 ・タブレット 1 台増設 (R2.8.17～ 計 2 台) ※本人限定受取郵便による 申請件数：R5 年度末 8 件 (R4：289 件 R3：248 件) 交付件数：R5 年度末 8 件 (R4：326 件 R3：376 件) ○新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせていた出張申請を感染拡大状況に注視しながら実施 ・出張申請：3 件 申請サポート：0 件 (R4 年度出張申請 72 件、申請サポート 0 件) (R3 年度出張申請 1 件、申請サポート 1 件)
116	旅券発給事務経費 (住民課)	421	・大阪府から事務移譲を受け、旅券発給事務を開始。	○身近な窓口で旅券発給手続きができることによるさらなる住民サービスの向上 ・H30 年 10 月 1 日から開始 ・R5 年度申請件数 1,243 件 (R4：523 件 R3：141 件) ・R5 年度交付件数 1,195 件 (R4：484 件 R3：143 件) ○旅券発給事務開始にあわせ、役場庁舎内に自動証明写真機を設置 ・通常の行政財産使用料に加え、売上げ手数料にかかる行政財産使用料を徴収：R5 年度 337,910 円 (R4 242,500 円 R3 158,160 円) (内訳) 行政財産占用分：R5 年度 10,800 円 (R4 10,800 円 R3 12,000 円) 行政財産手数料分 (35%)：R5 年度 327,110 円 (R4 231,700 円 R3 146,160 円) ※写真売上げ R5 年度 971 枚 934,600 円 R4 年度 742 枚 662,000 円 R3 年度 522 枚 417,600 円

117	職員給与関係事業 (一般管理費特別職分) (教育委員会費教育長分) (人事課)	43,372 (30,557) (12,815)	・第4次行財政構造改革プランに基づき、人件費の削減を行う。	○町長の任期中、常勤特別職職員の給料を削減 ・町長：平成28年3月3日から20%削減 月額760,000円→608,000円 ・副町長：平成30年4月1日から10%削減 月額646,000円→581,400円 ・教育長：平成30年4月1日から5%削減 月額598,000円→568,100円
118	①徴収率向上事業 ②町税収納整理事業 (収納対策課)	①8,421 ②3,175	・積極的な滞納整理を実施する等、自主財源の確保を図る。	①納付コールセンターを活用した現年度課税分未納者に対する電話・文書等の催告実施 ・催告件数(電話・文書)7,861件 ・架電対象額28,534千円、収納額24,236千円 ・収納率84.9% ②昨年度も引き続き、町税の徴収を推進するため大阪府及び府内37市町村で構成する大阪府域地方税徴収機構へ参加した。 ・滞納繰越分収納率40.4% ・機構引継分収納率91.4% ・現年・滞納繰越合計収納率98.7% (現年・滞納繰越合計収納率前年度比△0.1%) (参考：令和4年度現年・滞納繰越合計収納率98.8%、府下43市町村のうち上位15番目) ②【拡充】納税者等の更なる利便性向上のため、令和5年4月から「地方税共通納税システム」による対象税目【軽自動車税・固定資産税・町府民税(普徴)】、及びペイアプリ等の電子的納付の拡大を図った。 ②【新規】金融機関に対する預貯金調査等のオンライン化の導入により、滞納整理の迅速化、事務の効率化を図った。 ・預貯金等調査サービス利用実績8,116件

(29) 情報の公開、(31) シティプロモーション

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
119	町長等活動事業 (広報戦略課)	1,095	・町長と住民の忌憚のない対話を通じて、町長が行政施策を住民に公開すると共に、住民の町政に関する要望、意見等を把握し、これを行政施策に反映させることにより、住民の行政への参画を図ることを目的とする。	○タウンミーティング ・小学校区単位で5回開催(参加者191人) ○自治会との直接対話(令和6年度から自治・防災課所管) ・和田区で令和5年7月開催
120	広報事業 (広報戦略課)	11,996	・行政情報や地域情報など、住民が必要とする情報の提供を行う。	○広報誌の発行(12回)

121	ホームページ管理事業 (広報戦略課)	2,499	・ホームページ等で積極的に情報を提供し、住民と行政情報の共有化を図る。	○ホームページの運用・管理 ・利用者の皆様が必要な情報に簡単にたどりつき、より多くの情報を得られるようにしているホームページの運用・管理。
122	広報戦略・シティプロモーション事業 (広報戦略課)	1,616	・「伝える広報」ではなく「伝わる広報」を意識し、住民目線に適った「受け手視点」の広報作成に取り組み、広報誌、ホームページ、また LINE などの各種 SNS の特性に応じて、真に住民の皆さまが欲する情報を積極的かつ戦略的に情報発信を行う。 ・住民主体のプロモーションをより一層拡充するための施策を展開し、「熊取町のブランディング」へとつなげる。	○情報発信の専門業者との委託契約に基づく助言を踏まえた戦略的な情報発信 ○公式 SNS アカウントによる情報発信 (公式 YouTube、公式 Instagram、公式 LINE、公式 Facebook、公式 X) ○公式 LINE 登録者数増加に向けた取り組み ・各種イベントでの PR や広報誌、ホームページによる周知 ・毎月 1 回、熊取駅前では広報誌とともにお友達登録のキャンペーンを実施 ・登録者数 7,187 人 (R6.4 月時点) ○公式 Instagram ・つながる人 ○公式 YouTube ・「コンビニ交付サービス利用方法」 ・「ひまわりバスで行く！くまさんぽ」 ○住民主体のプロモーション拡充施策 ・YouTuber 養成講座 ・【新規】Instagram 写真講座 ○メディアへの掲載等 ・泉州広告株式会社出版物への掲載 情報誌ぱど「地元企業のええもん」、「お住まいまみたん」など ・テレビ等での放映 J-COM「長々と散歩」 令和 5 年 6 月放送 F C 大阪との協働によるインターネット番組「くまとり TV」の配信 ○ドローン操作技能に係る職員の育成

(30) 多種多様な連携

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
123	町内大学連絡会運営事業 (企画財政経営課)	1	・町内大学・研究所との協調関係を築き、地域の振興及び活性化等を図るための情報交換を行う。	○熊取町内大学連絡会の開催 ・令和 5 年 4 月 27 日 ○町内大学・研究所との連携事業 94 事業